



PORTATONE

PSR-E203

取扱説明書



安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの (PA-3C) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

禁止

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

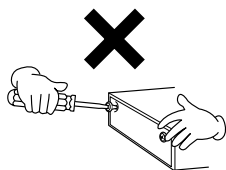
分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

禁止

感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。感電や火災、または故障の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上にもうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

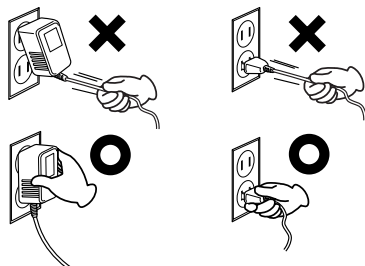
注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



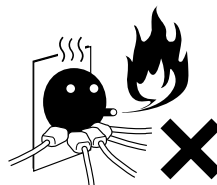
必ず実行

長期間使用しないとときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしな。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



乾電池



乾電池はすべて+ / -の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。

必ず実行



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。

必ず実行



乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れてると破裂するおそれがあります。

禁止



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。

禁止



長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

必ず実行



乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

禁止



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。

禁止

設置



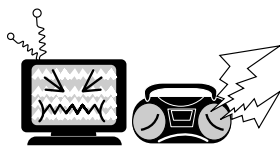
直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。

禁止



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

禁止



不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行



指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

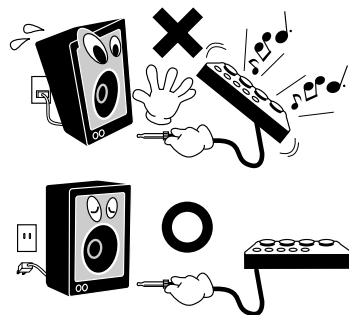
必ず実行

接続



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず接続した機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず接続した機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷の原因になることがあります。

必ず実行



手入れ



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

禁止

使用時の注意



本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。

禁止



パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

禁止



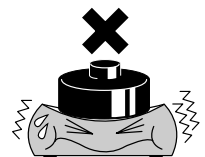
本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

禁止



本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。

禁止





大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または付属しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけることがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

- ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ごあいさつ

このたびはヤマハPSR-E203をお買いもとめいただき、
まことにありがとうございます。

PSR-E203のさまざまな機能を十分に活用するために、
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、
保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

パネルに印刷されているロゴ



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。



ステレオサンプリングピアノ

最新のAWM(Advanced Wave Memory)技術を使ってサンプリングしたグランドピアノの音色を内蔵、リアルで重厚な響きを実現しました。



Yamaha Education Suite 5

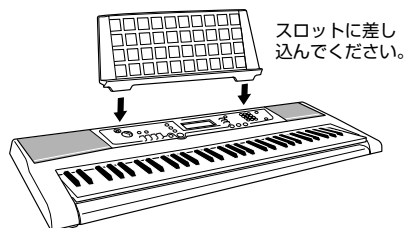
内蔵ソングの弾き方をマスターできるレッスン機能です。片手からレッスンできて、レッスン方法は3段階から選べます。弾く前にお手本のメロディを聞くこともできます。

付属品(お確かめください)

PSR-E203本体には、以下のものが付属しています。ご確認ください。

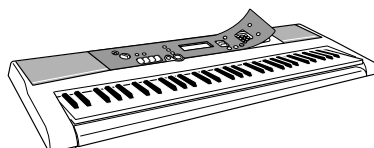
- ・取扱説明書(本書)
- ・電源アダプター PA-3C
- ・ソングブック
- ・和文シート
- ・保証書
- ・譜面立て

●譜面立ての取り付け方



●和文シート

付属の和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



もくじ

パネルに印刷されているロゴ.....	6
付属品(お確かめください).....	6
演奏の準備	8
電源の準備.....	8
PHONES/OUTPUT端子について.....	9
フットスイッチの接続(SUSTAIN端子).....	9
MIDI端子について.....	9
電源を入れる.....	9
各部の名称	10
フロントパネル.....	10
リアパネル.....	10

～クイックガイド～

ステップ 1 鍵盤の音を変えて弾いてみよう	12
電源を入れて音量を調節しよう.....	12
鍵盤の音をいろいろな楽器音に変えてみよう.....	13
グランドピアノの音で弾く.....	14
打楽器音(ドラムキット)を鳴らそう.....	14
ステップ 2 おもしろい音を鳴らそう	16
ステップ 3 メトロノームを使ってみよう	17
メトロノームを鳴らしてみよう.....	17
ステップ 4 ソングを鳴らしてみよう	19
好きなソングを1曲選んで聞く.....	19
ステップ 5 スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう	21
スタイル(伴奏)のリズムを選ぼう.....	21
スタイルを鳴らして自分も演奏しよう.....	22

基本操作と画面の見方	24
基本操作.....	24
画面の表示.....	26

ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)	27
レッスン1(お手本を聞く).....	27
レッスン2(タイミング).....	29
レッスン3(マイペース).....	30

ソングを鳴らすときの機能	31
ソングのメロディ音色を変更する.....	31
ソング音量.....	31
ミュート(消音).....	32
くり返し練習しよう.....	33

効果をつけて演奏してみましょう	34
リバーブ(残響効果)をつける.....	34
パネルサステイン(余韻)をつける.....	35

演奏するときの機能	36
スプリットポイントの変更.....	36
音の高さを変える(トランスポーズ).....	36
音の高さを微調整する(チューニング).....	37
楽器音が自動的に選ばれる (ワンタッチセッティング).....	37
ソングやスタイルのテンポを変える.....	38
メイン音色の設定.....	38

スタイル再生に関する機能	39
スタイルのいろいろなスタート方法と ストップ方法.....	39
スタイルのパターンに変化を付ける (セクション).....	41
スタイル音量の設定.....	43

コードの押さえ方	44
簡単なコードの押さえかた.....	44
通常のコードの押さえかた.....	44
コード辞書でコードを調べる.....	46

機能設定	48
項目を選んで値を変える.....	48

MIDI機器の接続	50
MIDIって何?.....	50
MIDIでできること.....	50
演奏情報を送受信する.....	51

楽器リスト	53
最大同時発音数について.....	53
ドラムキットリスト	55
スタイルリスト	56
エフェクトタイプリスト	57
MIDIインプリメンテーションチャート	58
MIDIデータフォーマット	60
エフェクトマップ.....	60
困ったときは.....	61
仕様一覧.....	62
インデックス	63
保証とアフターサービス	67

演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

この楽器は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

■家庭用コンセントから電源をとるときは

- 1 本体の電源が切れている(五線譜と調号以外、画面になにも表示されていない)ことを確認してください。



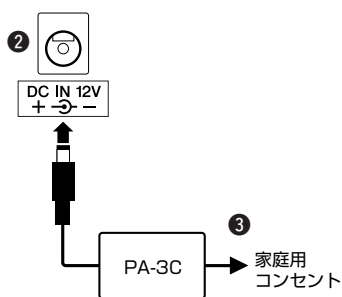
・電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプター PA-3C をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- 2 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 12V (電源アダプター接続)端子にさし込みます。

- 3 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



・長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。

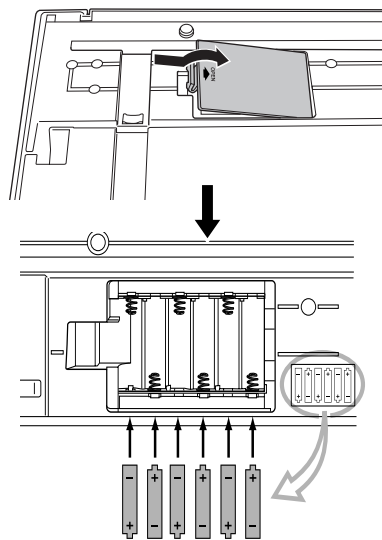


■乾電池を使うときは

- 1 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池プタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単3乾電池)を6本入れます。乾電池はアルカリ電池をおすすめします。イラストに合わせ、向きを間違えないように入ってください。
- 3 電池プタを閉めます。



・乾電池が入っていて電源がオンのときは、電源アダプターを抜き差ししないでください。電源が切れます。



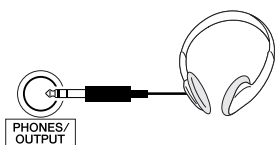
乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり画面の表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。



- ・乾電池はアルカリ電池をおすすめします。それ以外の電池(充電式を含む)を使用した場合、電池の残量が急激に減ることがあります。
- ・乾電池はすべて+/−の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ・乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ・長時間使用しない場合や、乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

以下の接続は必要に応じて、電源を入れる前に行ないます。

PHONES/OUTPUT 端子について



ヘッドフォンを接続すると自動的にPSR-E203のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-E203の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

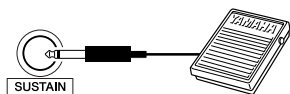


- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



- PSR-E203を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

フットスイッチの接続 (SUSTAIN端子)

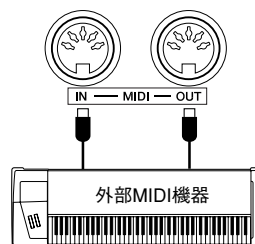


別売りのフットスイッチ(FC5またはFC4)をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフができます。



- フットスイッチを使用するときは、SUSTAIN端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

MIDI端子について



MIDI IN端子は外部のMIDI機器からMIDI信号を受信します。MIDI OUT端子はPSR-E203からMIDI信号(PSR-E203で演奏した音符など)を他の機器に送ります。



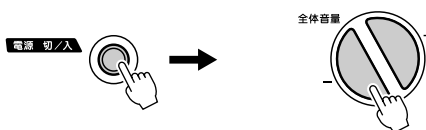
- MIDIケーブルは楽器店などでお買い求めください。
- MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

電源を入れる

[電源 切/入] (STANDBY/ON) スイッチを押して電源を入れます。

もう一度押すと電源が切れます。

この楽器では全体音量の初期設定値が12になっています。電源を入れたあと、全体音量の[-]ボタンを何度か押し、音量の設定値を最小にします。そのあと鍵盤を弾いて確かめながら、[+]ボタンを押して徐々に音量を上げてください。



この楽器では電源を切ると、パネル設定などのすべての設定が初期値に戻ります。



- [電源 切/入] (STANDBY/ON) スイッチが切れている状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

各部の名称

■フロントパネル

- ① [電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチ 9, 24ページ
- ② 全体音量(MASTER VOLUME)
 - [+] ボタン 9, 24ページ
 - [-] ボタン 9, 24ページ
- ③ レッスンパート(LESSON PART)
 - [左手] (L) ボタン 28ページ
 - [右手] (R) ボタン 28ページ
- ④ [お手本](LISTEN & LEARN) ボタン 28ページ
- ⑤ [タイミング](TIMING) ボタン 29ページ
- ⑥ [マイペース](WAITING) ボタン 30ページ
- ⑦ [機能](FUNCTION) ボタン 48, 25ページ
- ⑧ [ソング](SONG) ボタン 19, 25ページ
- ⑨ [スタイル](STYLE) ボタン 21, 25ページ
- ⑩ [楽器](VOICE) ボタン 13, 25ページ
- ⑪ 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-] 25ページ
- ⑫ [デモ](DEMO) ボタン 20ページ
- ⑬ [メトロノーム オン/オフ](METRONOME ON/OFF) ボタン .. 17ページ

ソングのとき

- ⑭ [くり返し練習](A-B REPEAT) ボタン 33ページ
- ⑮ [巻戻し](REW) ボタン 20ページ
- ⑯ [早送り](FF) ボタン 20ページ
- ⑰ [一時停止](PAUSE) ボタン 20ページ

スタイルのとき

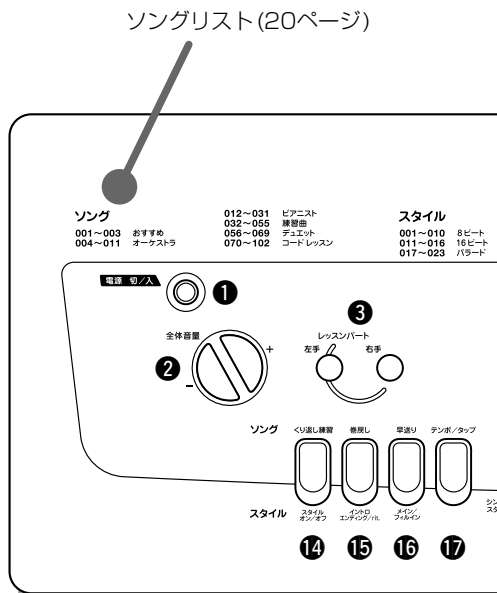
- ⑭ [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタン 22ページ
- ⑮ [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタン .. 41ページ
- ⑯ [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタン 41ページ
- ⑰ [シンクロスタート](SYNC START) ボタン 22ページ

- ⑰ [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタン 38ページ
- ⑱ [スタート/ストップ](START/STOP) ボタン 24ページ
- ⑲ [グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタン 14ページ
- ⑳ [効果音](SOUND EFFECT KIT) ボタン 16ページ
- ㉑ [リバーブ オン/オフ](REVERB ON/OFF) ボタン 34ページ

■リアパネル

- ㉓ MIDI IN/OUT 端子 50ページ
- ㉔ SUSTAIN(サステイン) 端子 9ページ
- ㉕ PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力) 端子 9ページ
- ㉖ DC IN 12V(電源アダプター) 端子 8ページ

■フロントパネル



鍵盤の音を変えて弾いて

電源を入れて音量を調節しよう

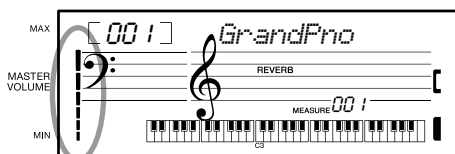
電源を入れる



[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れます。
もう一度押すと電源が切れます。

音量を調節しよう

電源を入れると、音量値が画面左端に表示されます。

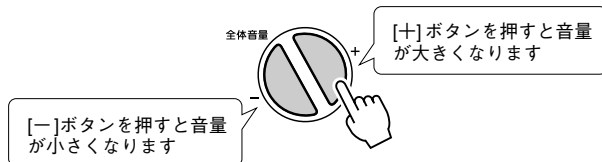


数が多いほど音量が大きくなります

全体音量の[−]ボタンを何度か押して、音量を小さくしておきます。次に鍵盤を弾いて音量を確認しながら、全体音量[+]、[−]ボタンを押して、音量を調節します



・設定した音量値は保存できません。



電源を入れたときの音量の初期設定値は12です。

静かな場所でお使いのときは、全体音量[−]ボタンを押しながら[電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、音量値が4で立ち上がります。

みよう

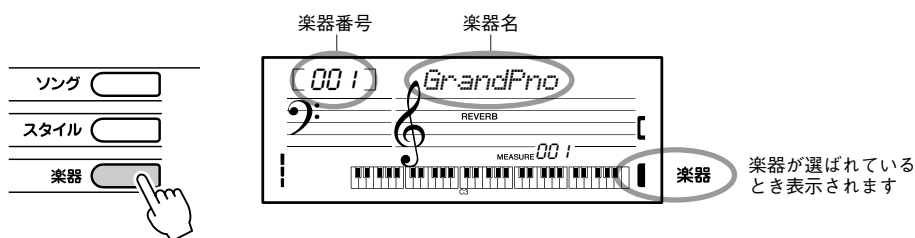


鍵盤の音をいろいろな楽器音に変えてみよう

この楽器では、鍵盤の音をピアノ以外の楽器の音に変えられます。
ギターやトランペット、フルートなど、好きな楽器の音に変えて弾いてみましょう。
ここで選ぶ楽器音がメインの音色になります。

1 [楽器](VOICE) ボタンを押します

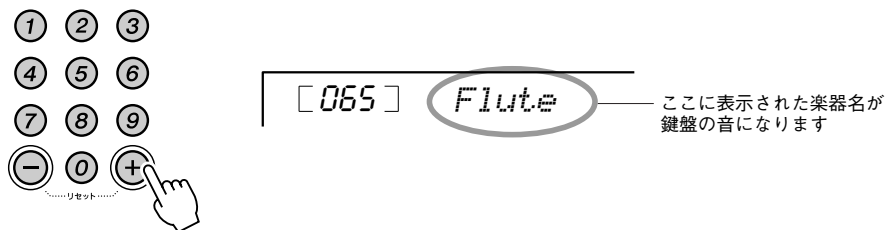
画面に楽器音の番号と名前が表示されます。



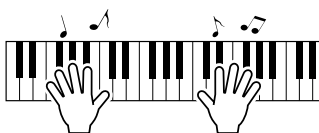
2 好きな楽器音を選びます

数字ボタン[0]~[9]や、[+]、[-]を押して、好きな楽器音の番号を選びます。

楽器音と番号は53ページの楽器リストにのっています。



3 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろ音を変えて楽しみましょう。

グランドピアノの音で弾く

「とにかくピアノの音で弾きたい」というときに便利なボタンです。

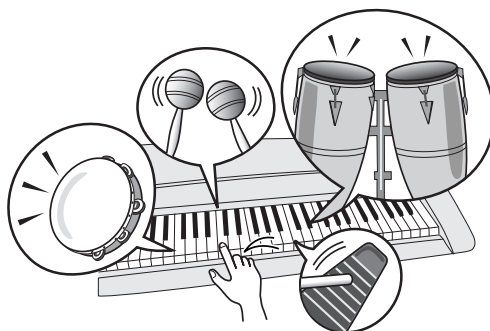
[グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押します

すべての鍵盤の音が楽器番号001のグランドピアノ1になります。

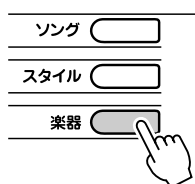


打楽器音(ドラムキット)を鳴らそう

ドラムキットとは、さまざまな打楽器音の集合体です。
楽器音にドラムキット(楽器番号130~134)を選ぶと、
各鍵盤を押したときにそれぞれ異なった打楽器の音が鳴ります。

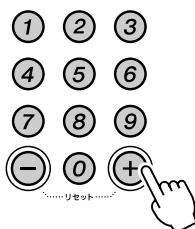


1 [楽器](VOICE) ボタンを押します



2 ドラムキットを選びます

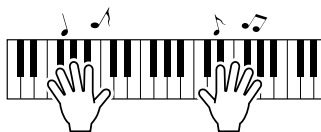
数字ボタン[0]~[9]や、[+]、[-]を押して、楽器番号130~134の中から選びます。



例) 130 スタンダードキット

[130] Std.Kit

3 鍵盤を押さえてみましょう



マラカスやボンゴなど、さまざまな打楽器音が鳴ります。
各キット(楽器番号 130~134)の具体的な内容については、55
ページのドラムキットリストをご参照ください。

●ドラムキットリスト

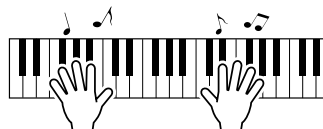
130	スタンダードキット
131	ダンスキット
132	ブラッシュキット
133	シンフォニーキット
134	サウンドエフェクトキット

おもしろい音を鳴らそう

この楽器では、すべての鍵盤でユニークな効果音を鳴らせます。

動物の鳴き声、小川のせせらぎ、お化け屋敷のような不気味な扉のきしみ音など、鍵盤を押さえて鳴らしましょう！

[効果音](SOUND EFFECT KIT)ボタンを押します



黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみましょう。

犬や猫の鳴き声、馬のいななき、気合の入った掛け声など、さまざまな効果音が鳴ります。

遊び終わったら、**[グランドピアノ](PORTABLE GRAND)ボタン**を押して、鍵盤の音をグランドピアノの音に戻しておきましょう。



ステップ

3

～クイックガイド～

メトロノームを使ってみよう

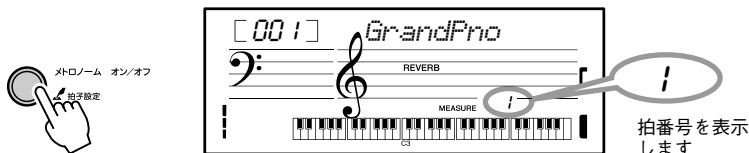
メトロノームを鳴らしてみよう

メトロノームの拍子やテンポを設定できます。
じっさいに弾いてみて、自分にあった早さに設定しましょう。

メトロノームを鳴らす

[メトロノーム オン/オフ](METRONOME ON/OFF) ボタンを押してメトロノームをオンにすると、メトロノームの音が鳴ります

メトロノームを止めたいときは、もう一度同じボタンを押してオフにします。



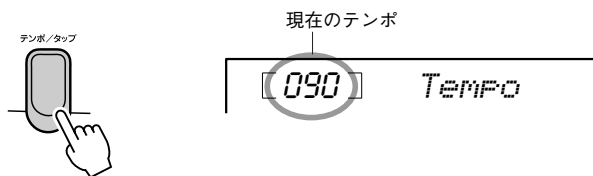
クイックガイド

ステップ 3
メトロノームを使ってみよう

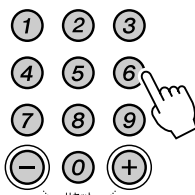
メトロノームのテンポを設定する

カチカチ鳴るテンポを調節できます。

1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押すと、画面にテンポが表示されます



2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、テンポを設定します
32～280まで設定できます。

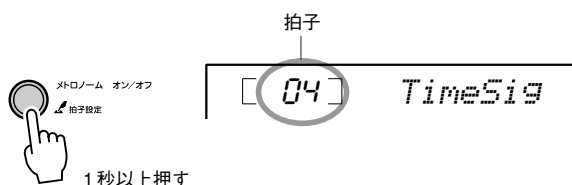


メトロノームの拍子を設定する

1拍目に「チーン」となり、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。

1 [メトロノーム オン/オフ](METRONOME ON/OFF) ボタンを1秒以上押し

ます
画面にメトロノームの拍子が表示されます。



2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、拍子を設定します

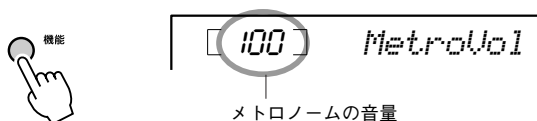
15拍子まで設定できます。



・メトロノームの拍子はスタイルやソングに同期するので、スタイルやソングの再生中は拍子を設定できません。

メトロノームの音量を設定する

1 画面にメトロノーム音量の項目「MetroVol」が表示されるまで、[機能](FUNCTION) ボタンを何度か押します



2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、メトロノームの音量を設定します



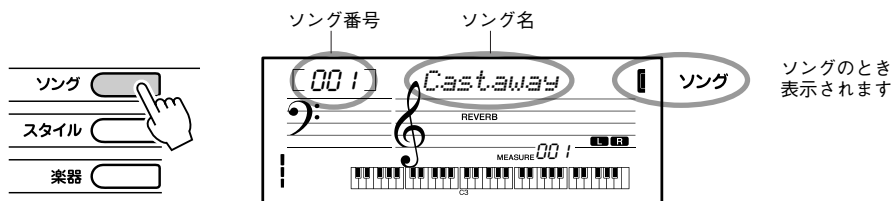
ソングを鳴らしてみよう

好きなソングを1曲選んで聞く

この楽器にはソングが102曲入っています。
鳴らして聞いてみましょう。

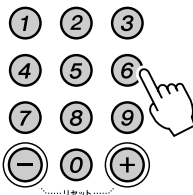
1 [ソング](SONG)ボタンを押します

画面にソング名とソング番号が表示されます。



2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、鳴らしたいソングの番号を選びます

ソングは次ページのソングリストにのっています。

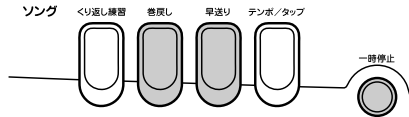


3 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します

ソングがスタートします。
ソングをストップさせたいときは、もう一度[スタート/ストップ]
(START/STOP)ボタンを押します。



●その他の操作



[巻戻し](REW)ボタン.....再生中に押すとソングを巻き戻します。停止中に押すと小節番号が減少します。巻戻し中は、ソングは再生されません。

[早送り](FF)ボタン.....再生中に押すとソングを早送りします。停止中に押すと小節番号が増加します。

[一時停止](PAUSE)ボタン.....ソングを一時停止します。もう一度押すと一時停止した位置から再生がスタートします。

●[デモ](DEMO)ボタンを使う

[デモ](DEMO)ボタンを押すと、ソング番号001、002、003、059、072、004、024、043が順番に演奏され、最後のソングが再生し終わると、また最初のソングに戻ってくり返し再生されます。ストップさせたいときはもう一度ボタンを押します。



●ソングリスト

番号	ソング名	番号	ソング名	番号	ソング名
おすすめ		練習曲		068	かわいいオーガスティン (Traditional)
001	キャストウェイ	032	アメリカ・ザ・ビューティフル (S.A. Ward)	069	ロンドン橋 (Traditional)
002	ウィンター・セレナーデ	033	ロンドンデリーの歌 (Traditional)	コードレッシン	
003*	クラブワーク	034	バンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)	070	ビル・ベイリ (帰っておいでよ) (H. Cannon)
オーケストラ		035	小鳥ならば (Traditional)	071	アイルランド人のほほ笑みは (E.R. Ball)
004	葦笛の踊り(くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)	036	ローレライ (F. Silcher)	072	ダウン・バイ・ザ・リバーサイド (Traditional)
005	「天国と地獄」序曲 (J. Offenbach)	037	フニクリ・フニクラ (L. Denza)	073	聖者の行進 (Traditional)
006	スラヴ舞曲第10番 (A. Dvořák)	038	わらの中の七面鳥 (Traditional)	074	円舞曲「春の声」(J. Strauss II)
007	四季より「春」(A. Vivaldi)	039	故郷の人々 (S.C. Foster)	075	草競馬 (S.C. Foster)
008	タイスの瞑想曲 (J. Massenet)	040	ジングル・ベル (J.S. Pierpont)	076	茶色的小瓶 (Joseph Winner)
009	ウィリアム・テル序曲 (G. Rossini)	041	別れ (F. Silcher)	077	ロッド・ローモンド (Traditional)
010	春の歌 (F. Mendelssohn)	042	愛の夢 第3番 (F. Liszt)	078	おお、スザンナ (S.C. Foster)
011	ハンガリー舞曲 第5番 (J. Brahms)	043	主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)	079	グリーンズリーブス (Traditional)
ピアニスト		044	歓喜の歌 (L.v. Beethoven)	080	オーラ・リー (G. Poulton)
012	お人形の夢と目覚め (T. Oesten)	045	真珠採りの歌 (G. Bizet)	081	きよしこの夜 (F. Gruber)
013	ブルグミュラー：25の練習曲から 1番 すなおな心 (J. F. Burgmüller)	046	ゴセックのガボット (F.J. Gossec)	082	ドナウ川のさざ波 (I. Ivanovici)
014	2番 アラベスク (J. F. Burgmüller)	047	ハイドンのセレナーデ (F.J. Haydn)	083	きらきら星 (Traditional)
015	3番 牧歌 (J. F. Burgmüller)	048	バッハのメヌエット (J.S. Bach)	084	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)
016	4番 こどもの集会 (J. F. Burgmüller)	049	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)	085	かっこう (Traditional)
017	5番 無邪気 (J. F. Burgmüller)	050	歌劇「魔笛」より (W.A. Mozart)	086	かわいいオーガスティン (Traditional)
018	6番 進歩 (J. F. Burgmüller)	051	月光の曲 (L.v. Beethoven)	087	ロンドン橋 (Traditional)
019	20番 タランテラ (J. F. Burgmüller)	052	びっくりシンフォニー (F.J. Haydn)	088	アメリカンパトロール (F.W. Meacham)
020	25番 貴婦人の乗馬 (J. F. Burgmüller)	053	野ばらに寄す (E.A. MacDowell)	089	夢見る君 (S.C. Foster)
021	別れの曲 (F. Chopin)	054	闘牛士の歌 (G. Bizet)	090	リパブリック讃歌 (Traditional)
022	ベートーベンのトルコ行進曲 (L.v. Beethoven)	055	私のお父さん (G. Puccini)	091	埴生の宿 (H. Bishop)
023	モーツァルトのトルコ行進曲 (W.A. Mozart)	デュエット		092	花のワルツ(くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
024	小犬のワルツ (F. Chopin)	056	こげこげポート (Traditional)	093	アロハ・オエ (Traditional)
025	ポッケリーニのメヌエット (L. Boccherini)	057	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー (Traditional)	094	線路は続くよどこまでも (Traditional)
026	夜想曲 第2番 (F. Chopin)	058	おめでどうクリスマス (Traditional)	095	愛しのクレメンタイン (Traditional)
027	楽興の時 第3番 (F. Schubert)	059	スカポロ・フェア (Traditional)	096	螢の光 (Traditional)
028	エンターテイナー (S. Joplin)	060	ちょうちょ (Traditional)	097	大きな古時計 (H.C. Work)
029	平均律第1巻第1番 プレリユード (J.S. Bach)	061	もみの木 (Traditional)	098	アメージング・グレース (Traditional)
030	すみれ (Streabbog)	062	メリーさんのひつじ (Traditional)	099	マイ・ボニー (H.J Fulmer)
031	エリーゼのために (L.v. Beethoven)	063	10人のインディアン (Septimus Winner)	100	アルプス一万尺 (Traditional)
		064	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (Traditional)	101	もろびとこぞりて (G.F. Händel)
		065	きらきら星 (Traditional)	102	シューベルトのアペマリア (F. Schubert)
		066	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)		
		067	かっこう (Traditional)		

・*印のソング003は左手部分のない曲です。したがってレッスンは右手レッスンだけに対応しています。

・内蔵ソングのうち、クラシックやトラディショナルカテゴリーのソングは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

・これら内蔵ソングの譜面がソングブックに入っています。ただし3曲(ソング番号001~003)は除きます。



ステップ

5

～クイックガイド～

スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう

クイックガイド

ステップ 5

スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう

スタイル(伴奏)のリズムを選ぼう

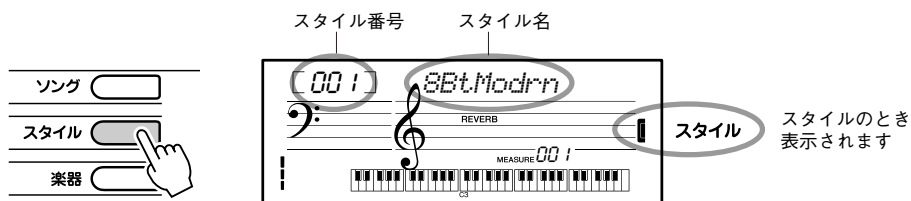
スタイルとは、リズムを含んだ伴奏です。

この楽器はロックやブルース、ユーロトランスなど、さまざまなリズムの伴奏を鳴らすことができます。まずスタイルの基本となるリズムだけを聞きましょう。

リズムは打楽器音だけで演奏されます。

1 [スタイル](STYLE) ボタンを押します

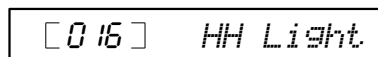
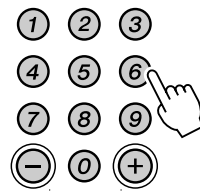
画面にスタイルの番号と名前が表示されます。



2 スタイルを選びます

数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、好きなスタイルを選びます。

スタイルは、スタイルリスト(56ページ)にあります。



3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します

スタイルのリズムだけがスタートします。

ストップさせたいときは、もう一度[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押します。



NOTE

・093～100の「ピアニスト」カテゴリーのスタイルはリズムパートがないためリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオン(22ページ)にした状態で[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押し、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

スタイルを鳴らして自分も演奏しよう

前ページでは、好きなスタイルのリズムの選び方を覚えました。

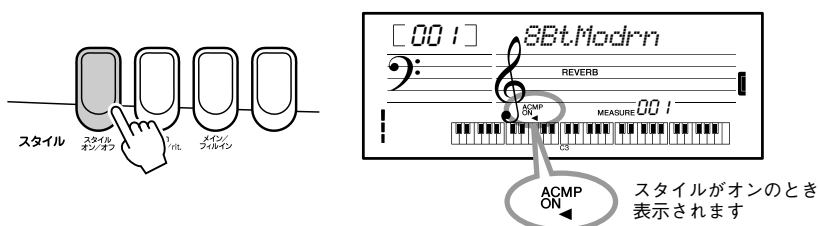
ここでは、選んだリズムにベース音やコード音を加えた、華やかなスタイルの鳴らしかたを覚えましょう。それを伴奏に、自分も一緒に演奏します。

1 [スタイル](STYLE) ボタンを押して、好きなスタイルを選びます

2 スタイルをオンにします

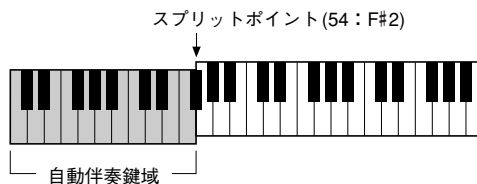
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押します。

もう一度ボタンを押すとスタイルはオフになります。



●スタイルがオンになると…？

スプリットポイント(54:F#2)より左側の鍵盤が、和音(コード)だけを鳴らす特殊な状態になります。これを自動伴奏鍵域といいます。

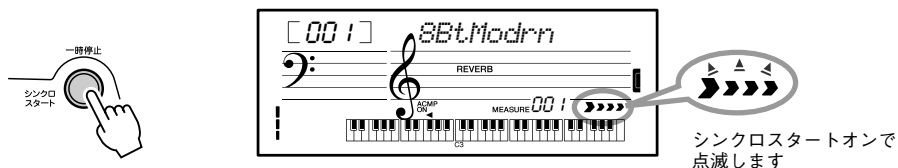


NOTE

- ・スプリットポイントは変更できます。変更方法は36ページにあります。

3 シンクロスタートをオンにします

[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押します。



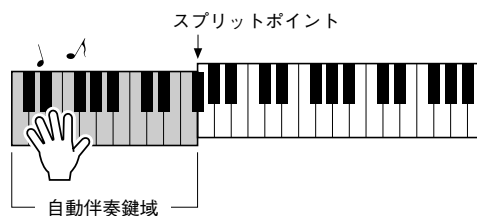
シンクロスタートをオンにすると、スプリットポイントより左側の鍵盤を押さえると同時に、ベース音やコード音を含んだスタイルが鳴ります。

4 左手でコードを弾くと、スタイルがスタートします

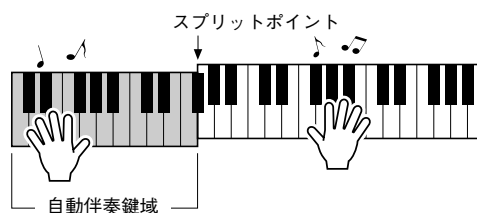
コードを知らない？ 大丈夫です。この楽器は、鍵盤を1つ押さえただけで、コードが押さえられた、と認識してくれます。左側の鍵盤を1~3つ、自由に押さえてみましょう。

ちがう鍵盤を押さえるたびに、スタイルの感じもどんどん変わります。

詳しいコードの押さえかたは、44ページをご参照ください。



5 左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディを弾いてみましょう



6 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとスタイルがストップします



基本操作と画面の見方

基本操作

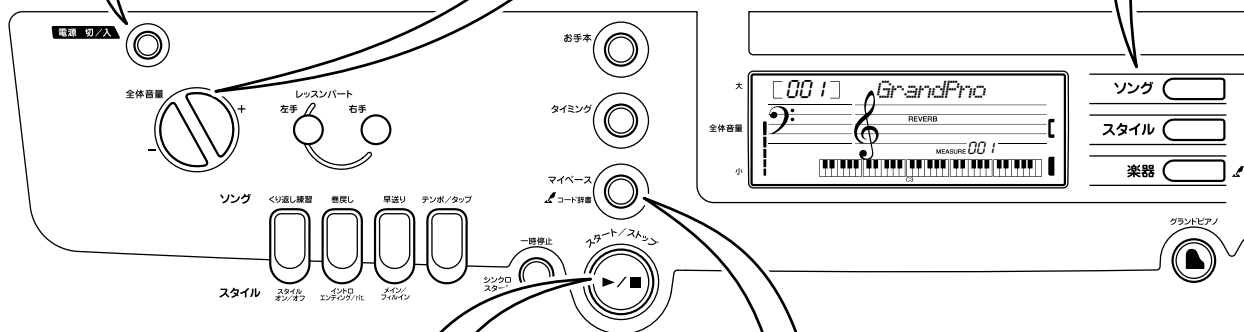
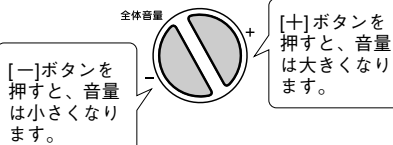
電源を入れる

[電源 切/入] (STANDBY/ON) スイッチを押して電源を入れます。
もう一度押すと電源が切れます。



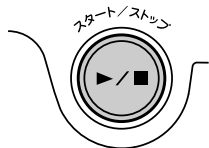
音量を調節する

全体音量(MASTER VOLUME)の[+]、[-] ボタンを押します。



[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンについて

[ソング] (SONG) ボタンや[スタイル] (STYLE) ボタンを押したあとこのボタンを押すと、ソングやスタイル(リズム)が鳴ります。






ボタンを「長く押す」マークについて



「長く押す」マークが印刷されているボタンは、1秒以上押したままにすると、「長く押す」マークの横に印刷してある機能設定の画面に、ダイレクトに入れます。



基本機能を選ぶ

- ソング  ソングを選ぶとき押します
- スタイル  スタイルを選ぶとき押します
- 楽器  鍵盤で弾きたい楽器音を選ぶとき押します

基本機能を選ぶと、画面に現在のソング、スタイル、楽器音の名前と番号が表示されます。
数字ボタンなどを使って好きな番号に変更できます。

番号や数値を変更する

●数字ボタン [0]～[9]

楽器音などの番号や項目の設定値を、直接数値で入力できます。100の位、もしくは100の位と10の位が0の場合は、「0」の入力を省略できます。

例) 「002 グランドピアノ2」を選ぶ場合

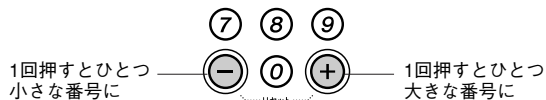


数字ボタンの
[0]、[0]、[2]
を押します

[002] GrandPn2

●[+]、[-]ボタン

[+] ボタンを1回押すと、ひとつ大きな番号に、[-] ボタンを1回押すと、ひとつ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。



機能設定をする(48ページ)

この【機能設定】(FUNCTION) ボタンの中に16個の機能設定が入っています。ボタンを押すたびに項目が切り替わるので、目的の項目が表示された状態で、数字ボタンなどを使って設定値を変更します。



画面の表示

画面には、ソング、スタイル、楽器音など、基本的な設定状態が表示されます。また、どの機能がオンになっているのかがアイコンなどで表示されますので、操作は画面を見ながら行ってください。

音符表示

通常は押した鍵盤の譜面上の位置を表示します。レッスン機能のときはソングのメロディやコードを表示します。コード辞書機能のときはコードの構成音を表示します。



NOTE

- ・1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報を表示します。(32ページ)



- R 点灯：データがあります。
- R 消灯：データがないか、消音されています。

小節(MEASURE)表示

ソングの小節番号が表示されます。

MEASURE 003

ビート表示

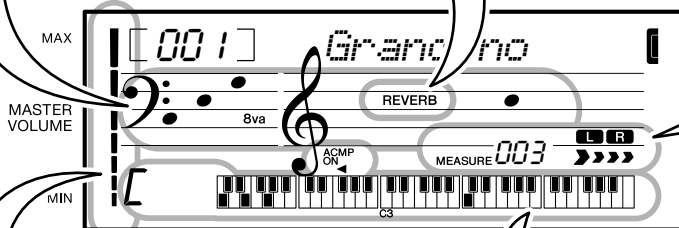
スタイルやソングのビート(拍)を矢印で点滅表示します。



リバーブオン/オフ(REVERB)表示

リバーブがオンのとき表示されます。(34ページ)

REVERB

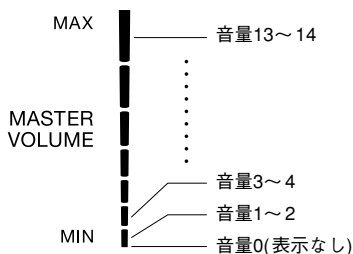


全体音量表示

全体音量値が黒い四角の数(1~7)で表示されます。数が多いほど音量も大きくなります。

全体音量の設定範囲：0~14

黒い四角1つが音量値2つ分を表します。



コード表示

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などが表示されます。



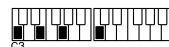
スタイルオン/オフ(ACMP ON)表示

スタイル(自動伴奏)がオンのとき表示されます。(22ページ)



鍵盤表示

押した鍵盤の位置が表示されます。レッスン機能のときはソングのメロディやコードを表示します。自動伴奏機能とコード辞書機能使用時には、コードの構成音が表示されます。

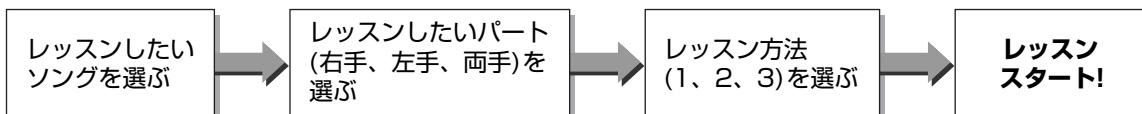


ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)

Yamaha Education Suite 5

好きなソングを選んで、右手、左手、両手別にレッスンできます。
レッスン方法は3段階です。

■ レッソンの流れ



■ レッスン方法

- レッスン1 (お手本を聞く).....お手本を聞いてメロディやリズムを覚えます
- レッスン2 (タイミング).....ソングに合わせてタイミングよくメロディやコード(和音)を弾きます
- レッスン3 (マイペース).....正しい音符を弾きます

レッスン1 (お手本を聞く)

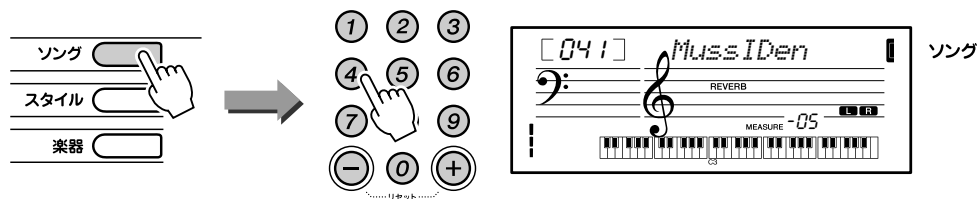
レッスン1は鍵盤を弾く必要はありません。
選んだパートのお手本メロディが鳴るので、よく聞いて覚えます。

1 レッスンしたいソングを選びます

[ソング](SONG) ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9]や、[+]、[-]を押して、20ページのソングリストからソングを選びます。



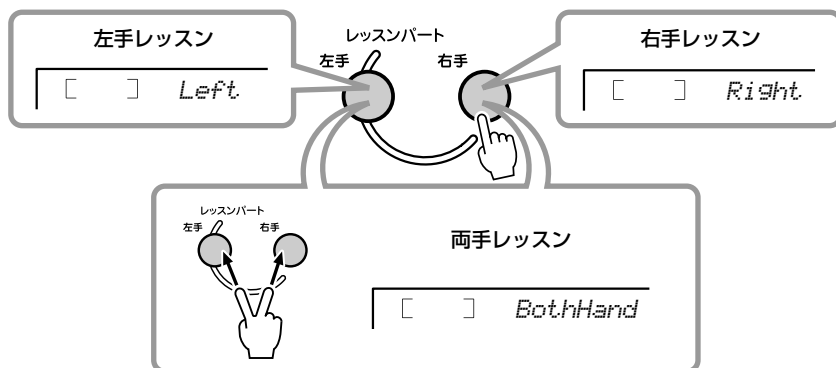
・ レッスン1がスタートする前にソングが鳴っていると、パートを選べません。ソングが鳴っている場合は、ソングをストップさせてから手順2へすすみます。



内蔵ソングは102曲ありますが、ソング003は右手レッスン用のソングのため、左手および両手のレッスンはできません。

2 レッスンしたいパートを選びます

右手のレッスンをしたいときは[右手](R)ボタン、左手のレッスンをしたいときは[左手](L)ボタンを押します。両手のレッスンをしたいときは[右手](R)ボタンと[左手](L)ボタンを同時に押します。
画面には選んだパートが表示されます。



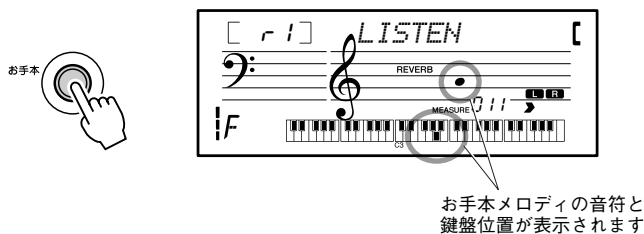
ソング003は左手のデータがないため、左手および両手のレッスンはできません。ソング003を選んで左手パートを選ぶと、画面に「No LPart」と表示されます。

[] No LPart

3 レッスン1をはじめましょう

[お手本](LISTEN & LEARN) ボタンを押すと、レッスン1がスタートします。

手順2で選んだパートのメロディやコード音がお手本として鳴りますので、よく聞いて覚えましょう。



NOTE

- ・レッスン1がスタートしたあとは、ソングが鳴っていてもパートを選べます。
- ・ソングのメロディ音色を変えた場合、音色によっては画面に表示される鍵盤位置がオクターブ単位でずれることがあります。
- ・レッスン中でも、[お手本](LISTEN & LEARN)ボタン、[タイミング](TIMING)ボタン、[マイペース](WAITING)ボタンを押してレッスン1、2、3を切り替われます。

4 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。

レッスン2(タイミング)

鍵盤を弾くタイミングをレッスンしましょう。

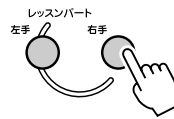
選んだパートのリズムに合わせて、メロディやコード(和音)を弾きます。タイミングさえ合っていれば、弾く鍵盤を間違えても正しいメロディ音やコード音が鳴ります。



・スプリットポイントは、左手レッスンの場合「59(B2)」、左手コードレッスンの場合は「54(F#2)」に固定され、変更できません。

1 レッスンしたいソングを選びます

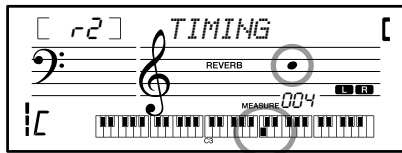
2 レッスンしたいパートを選びます



・レッスン2がスタートする前にソングが鳴っていると、パートを選べません。ソングが鳴っている場合は、ソングをストップさせてから手順2へすすみます。

3 レッスン2をはじめましょう

[タイミング](TIMING) ボタンを押すと、レッスン2がスタートします。



・レッスン2がスタートしたあとは、ソングが鳴っていてもパートを選べます。

画面に表示された音符を弾きましょう。
リズムにあわせてタイミングよく弾きます。

ソング番号070~102はコードレッスン用のソングです。これらのソングの左手パートをレッスンするときには、自動伴奏鍵域内で弾きます。



・この楽器では、鍵盤を弾く強さに関係なく一定の音量が鳴ります。そのため選んだソングによっては、お手本で聞いたとおりの演奏ができないことがあります。

4 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。



採点

レッスン2、レッスン3で、1曲レッスンを終了したとき、レッスン結果を採点します。

その結果は4段階(OK, Good, Very Good, Excellent)で表示されます。

OK
Good
Very Good
Excellent

レッスン3(マイペース)

正しい音を弾くレッスンをしましょう。

画面には、押さえる鍵盤位置と音符が表示されます。

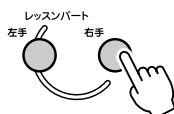
伴奏は、正しい鍵盤が押さえられるまで、すすまず待っていてくれます。

1 レッスンしたいソングを選びます



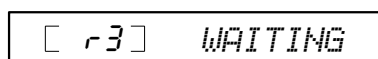
- ・レッスン3がスタートする前にソングが鳴っていると、パートを選べません。ソングが鳴っている場合は、ソングをストップさせてから手順2へすすみます。

2 レッスンしたいパートを選びます



3 レッスン3をはじめましょう

[マイペース](WAITING) ボタンを押すと、レッスン3がスタートします。



- ・レッスン3がスタートしたあとは、ソングが鳴っていてもパートが選べます。

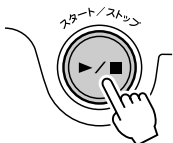
画面に表示された音符を弾きましょう。正しい鍵盤を押さえると、次に押さえる音符と鍵盤位置が表示されます。



- ・この楽器では、鍵盤を弾く強さに関係なく一定の音量が鳴ります。そのため選んだソングによっては、お手本で聞いた通りの演奏ができないことがあります。

4 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。



ソングを鳴らすときの機能

ソングのメロディ音色を変更する

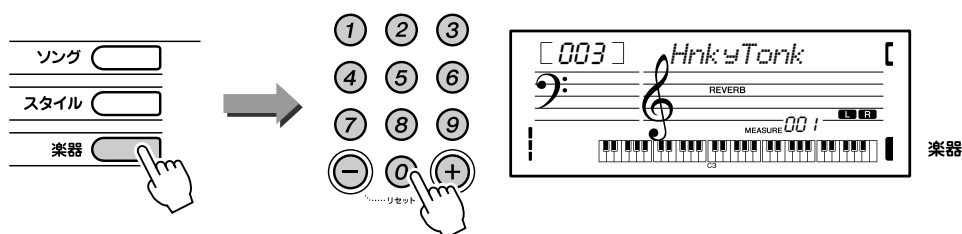
ソングのメロディ音色を、好きな楽器音色に変えて鳴らすことができます。

1 好きなソングを選んで、鳴らします

19ページの「ソングを鳴らしてみよう」をご参照ください。

2 好きな楽器音を選びます

[楽器] (VOICE) ボタンを押し、数字ボタン [0] ~ [9]、[+]、[-] を押して好きな楽器音を選びます。

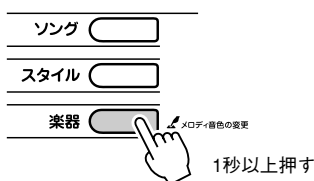


鍵盤を弾くと選んだ楽器音が鳴るので、聞いてみましょう。

手順の途中でソングがストップした場合は、[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押してもう一度鳴らしておきます。

3 [楽器] (VOICE) ボタンを1秒以上押します

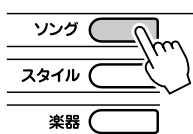
「SONG MELODY VOICE」と画面に表示されたあと、ソングのメロディ音色が手順2で選んだ楽器音に変わります。



ソング音量

ソングを鳴らしながら鍵盤を弾く場合、ソングの音量を変更することで、鍵盤演奏とのバランスをとります。

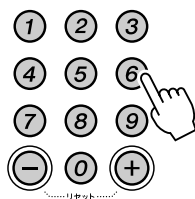
1 [ソング] (SONG) ボタンを押します



2 画面にソング音量の項目「SongVol」が表示されるまで、[機能] (FUNCTION) ボタンを何度か押します



3 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押してソング音量の値を変えます



・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

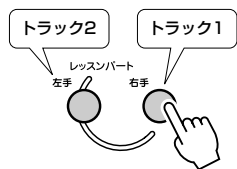
ミュート(消音)

ソングはいくつかのトラックでできています。

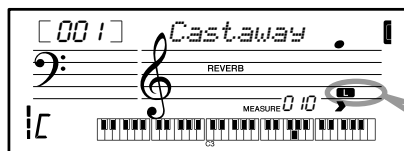
ソングを再生中にトラック1かトラック2をミュートすることができます。

- ソング再生中に[右手](R)ボタンを押すと、トラック1の演奏がミュートされます。
- ソング再生中に[左手](L)ボタンを押すと、トラック2の演奏がミュートされます。

ソング再生中にミュートしたトラックのボタンをもう一度押すか、別のソングを選ぶと、ミュートは解除されます。



ソング再生中に押したトラックがミュートされます

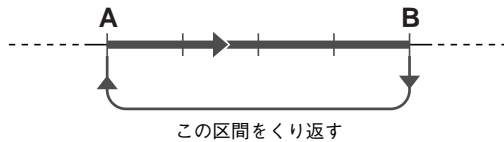


演奏データがあると点灯

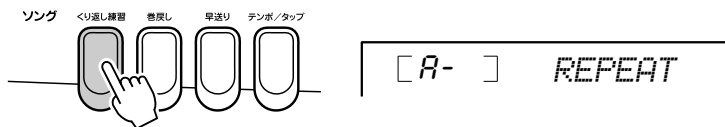
ミュートするか、演奏データがないと消灯

くり返し練習しよう

自分の苦手な部分をくり返し練習することができます。
レッスンしたいソングの一部分「A(リピートの始まり)」、
「B(リピートの終り)」を設定して、その間の演奏をくり返し再生させます。



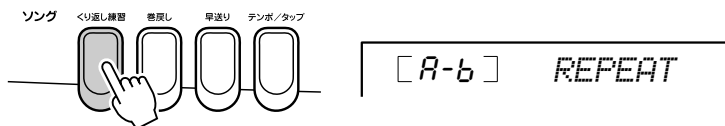
- 1 ソングをスタートさせ、くり返したい範囲の始まりの位置で、**[くり返し練習](A-B REPEAT)** ボタンを押して「A」を設定します。画面には「A- REPEAT」が表示されます。



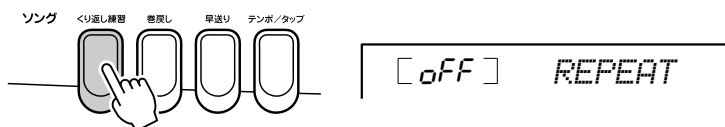
NOTE

- ・くり返しの設定は小節単位で行ないます。
- ・停止中でも[巻戻し](REW)、[早送り](FF)ボタンで小節を設定できます。
- ・開始位置「A」を曲の先頭に設定したい場合、ソングをスタートする前に[くり返し練習](A-B REPEAT)ボタンを押します。

- 2 くり返したい範囲の終わりの位置で、もう一度**[くり返し練習](A-B REPEAT)** ボタンを押して「B」を設定します。A-B間がくり返し再生されます。くり返し弾きましょう。



くり返しの設定を取り消すときは、**[くり返し練習](A-B REPEAT)** ボタンを押します。画面には「OFF REPEAT」と表示されます。
くり返し練習(再生)中に設定を取り消すと、そのまま通常の再生を続けます。



NOTE

- ・ソング番号を変えると、くり返し練習はキャンセルされます。
- ・スタイルに移ると、くり返し練習はキャンセルされます。

効果をつけて演奏してみましょう

リバーブ(残響効果)をつける

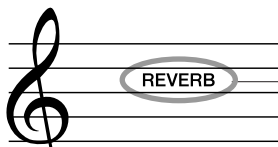
ホールや室内で弾いたときのようなリバーブをつけて演奏できます。

リバーブのつけかた

[リバーブ オン/オフ](REVERB ON/OFF) ボタンを押してリバーブをオンにします。リバーブは通常オンになっています。

鍵盤を弾くとリバーブがつきます。

リバーブをつけたくないときはもう一度同じボタンを押してオフにします。



リバーブがオンになると表示されます

リバーブタイプを選ぶ

リバーブオンのときスタイルやソングを選ぶと、いちばん合うリバーブが自動的に選ばれますが、リバーブのタイプを選ぶこともできます。

- 1 [リバーブ オン/オフ](REVERB ON/OFF) ボタンを1秒以上押します。「Reverb」と表示されたあと、リバーブタイプが表示されます。



1秒以上押す



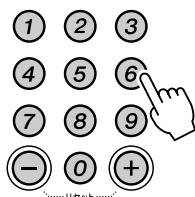
現在のリバーブタイプ

- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、リバーブタイプを選びます。

リバーブタイプは57ページのリバーブタイプリストにのっています。
リバーブレベル(リバーブをどれだけかけるか)の調節は、48ページの機能設定で行ないます。



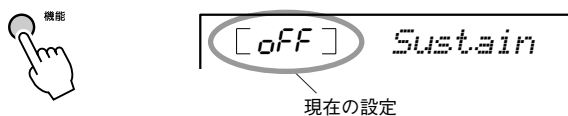
・ [機能](FUNCTION)ボタンを何度か押してリバーブを選ぶ画面に入ることができます。



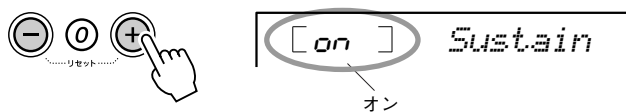
パネルサステイン(余韻)をつける

演奏音に余韻をつけられます。

- 1 画面にパネルサステインの項目「Sustain」が表示されるまで、**[機能]** (FUNCTION) ボタンを何度か押します。



- 2 **[+]** ボタンを押して、パネルサステインをオンにします。
パネルサステインがオンのとき鍵盤を弾くと、音に余韻が加わります。
パネルサステインをつけたくないときは**[-]** ボタンを押してオフにします。



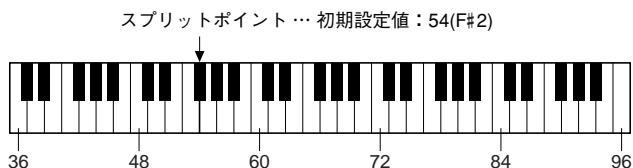
NOTE

- ・別売りのフットスイッチを接続してサステインをつけることもできます。9ページ「フットスイッチの接続 (SUSTAIN端子)」をご参照ください。

演奏するときの機能

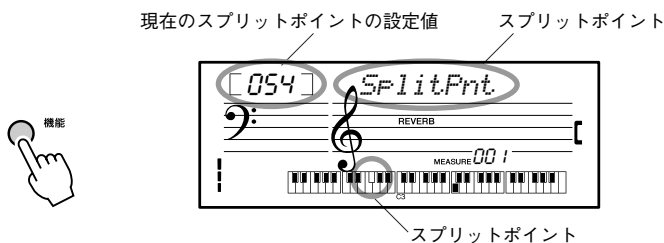
スプリットポイントの変更

スプリットポイントの位置を変更できます。



上図のとおり、初期設定は54(F#2)ですが、演奏しやすい位置に変更できます。スプリットポイントの位置を変えると、自動伴奏鍵域の範囲が変わります。

- 1 画面にスプリットポイントの項目「SplitPnt」が表示されるまで、**[機能]** (FUNCTION) ボタンを何度か押します。



- 2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、スプリットポイントの位置を変更します。

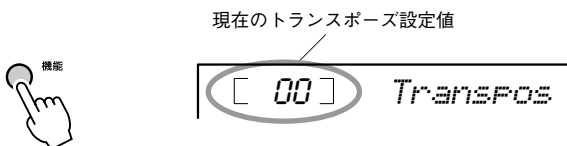


・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「54(F#2)」に戻ります。

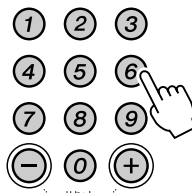
音の高さを変える(トランスポーズ)

楽器全体の音の高さを半音単位で変えます。

- 1 画面にトランスポーズの項目「Transpos」が表示されるまで、**[機能]** (FUNCTION) ボタンを何度か押します。



- 2 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押して、トランスポーズの値を-12～+12(単位：半音、±1オクターブ)の範囲で設定します。



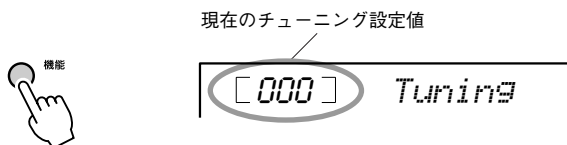
・ドラムキット(楽器番号130～134)の音の高さは変えられません。

・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。

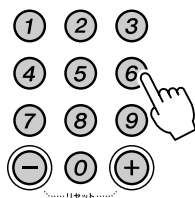
音の高さを微調整する(チューニング)

楽器全体の音の高さを微調整します。チューニングの単位は1セントです。
(100セント=半音)

- 1 画面にチューニングの項目「Tuning」が表示されるまで、**[機能]**
(FUNCTION) ボタンを何度か押します



- 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押してチューニングの値を-100~
+100(単位: セント)の範囲で設定します



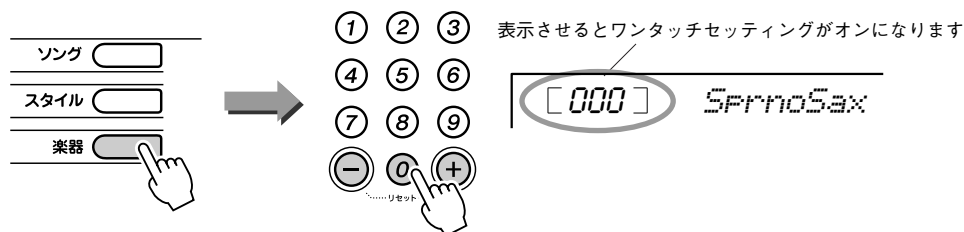
NOTE

- ・ドラムキット(楽器番号130~134)の音の高さは変えられません。
- ・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「000」に戻ります。

楽器音が自動的に選ばれる(ワンタッチセッティング)

スタイルやソングを鳴らしながら鍵盤を弾いて演奏する場合、最適な楽器音を自動的選択してくれる機能がワンタッチセッティングです。楽器音に楽器番号「000」を選ぶと、スタイルやソングに最適な楽器音が自動的に選ばれます。

- 1 **[楽器]**(VOICE) ボタンを押したあとに、数字ボタン[0]や、[+]、[-]を押して楽器番号「000」を選びます。

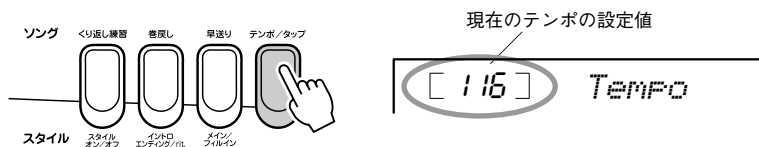


これでワンタッチセッティングがオンになりました。
「000」以外の楽器音を選ぶとワンタッチセッティングはオフになります。

ソングやスタイルのテンポを変える

ソングやスタイルを、早いテンポやゆっくりしたテンポで鳴らすことができます。

- 1 ソングやスタイルを選び、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押して、画面にテンポを表示させます。

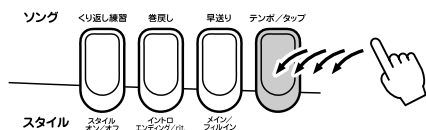


- 2 数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押してテンポを設定します。

また、4拍子のソングやスタイルなら4回、3拍子なら3回、カウントをとるように[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを叩くと、そのテンポでソングやスタイルがスタートします。ソングやスタイル再生中は、2回叩くとテンポが変わります。



・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、そのソングやスタイル本来のテンポに戻ります。



メイン音色の設定

メイン音色の音量、オクターブ(楽器音の高さをオクターブ単位で変更)を設定できます。

- メイン音色に関する各種設定 (49ページ)
 - ・メイン音色音量
 - ・メイン音色オクターブ

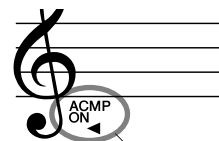
上記の設定は48ページの機能設定で行ないます。

スタイル再生に関する機能

スタイルのいろいろなスタート方法とストップ方法

スタイルのスタート方法

スタイルのスタート方法には、次の3種類があります。
いずれの場合も、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してスタイルをオンにしたあとに、操作します。
どのスタート方法でも、スタート前に[イントロ/エンディング/rit.] (INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押してスタイルのパターンにイントロを指定しておくと、メインパターンに入る前にイントロを再生します。



スタイルがオンのとき表示されます

■ すぐにスタート

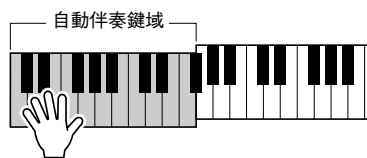
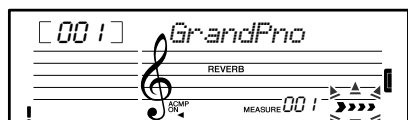
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとすぐにスタイルがスタートし、選ばれているスタイルのリズムだけが鳴ります。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。



すぐにスタートする。

■ コードを弾くとスタート

[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートします。

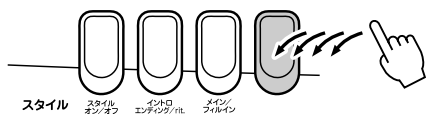


シンクロスタート待機状態

コードを弾くとスタートする。

■ 自分でカウントを出してスタート

4拍子なら4回、3拍子なら3回、カウントをとるように[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを叩くと、そのテンポでスタイルのリズムだけがスタートします。自動伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。



自分のカウントでスタートする。

スタイルのストップ方法

スタイルのストップ方法には、次の3種類があります。

■ すぐにストップ

[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、すぐにスタイルがストップします。



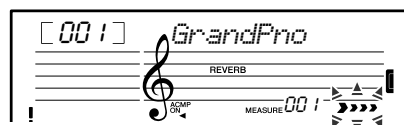
すぐにストップする。

■ すぐにストップしてシンクロスタート待機

[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押すとすぐにスタイルがストップし、シンクロスタート待機状態(ビート表示が点滅)になります。



すぐにストップするが、シンクロスタートで待機。



シンクロスタート待機状態

■ エンディングを鳴らしてストップ

[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングを鳴らしたあとでストップします。



エンディングを鳴らしてからストップする。

また、エンディング再生中に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングにリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、ストップします。

スタイルのパターンに変化を付ける(セクション)

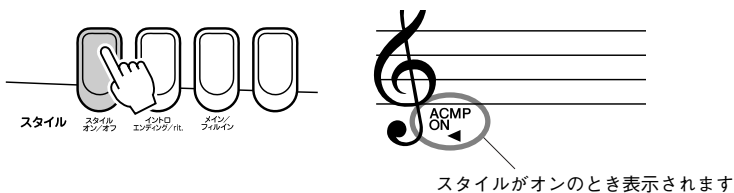
演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にも下記のバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。

- **イントロ(INTRO) セクション**
曲の始まりに適したセクションです。イントロの演奏が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって異なります。
- **メイン(MAIN) セクション**
曲のメイン部分の演奏で使います。他のセクションボタンを押すまで、メインのスタイルパターンをくり返し演奏します。A/Bのバリエーションがあり、左手で押さえたコードに基づいたスタイルが演奏されます。
- **フィルイン(AUTO FILL)セクション**
メインセクションA/Bが切り替わるときに自動的に挿入されます。
- **エンディング(ENDING) セクション**
曲の終わりに適したセクションです。エンディングセクションの演奏が終わると、スタイルはストップします。エンディングセクションの小節数はスタイルによって異なります。

1 [スタイル](STYLE)ボタンを押して、好きなスタイルを選びます

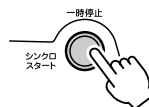
2 スタイルをオンにします

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押します。

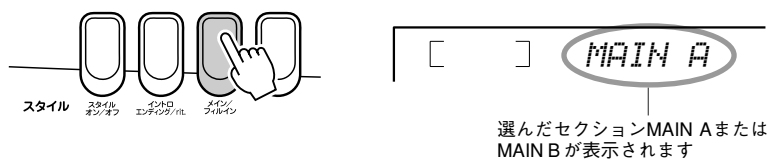


3 シンクロスタートをオンにします

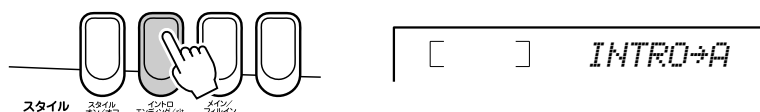
[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押します。



4 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押します

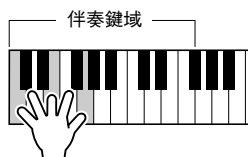


5 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押します

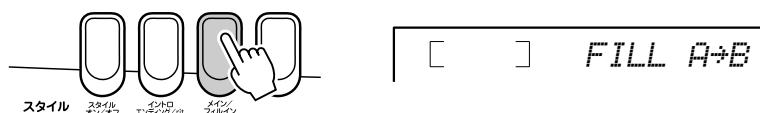


6 左手でコードを押さえると、スタイルのイントロセクションがスタートします

たとえばC(Cメジャー)を押さえてみましょう。
コードの押さえ方は44ページをご参照ください。

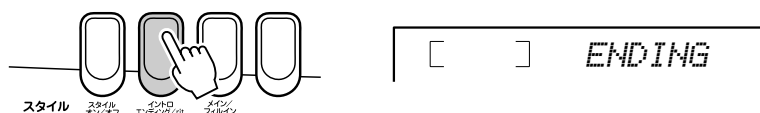


7 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを自由に押します



フィルインを演奏したあとメインセクションA/Bが変わります。

8 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) を押します



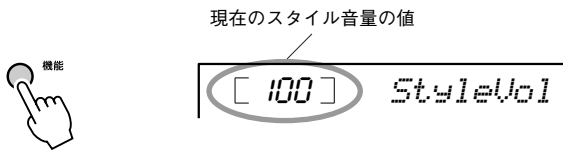
エンディングセクションの演奏に切り替わります。エンディングセクションの演奏が終わるとスタイルはストップします。

エンディングセクションの再生中にもう1度[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルはストップします。

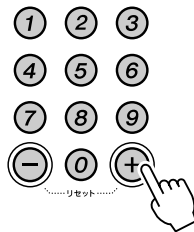
スタイル音量の設定

スタイルを鳴らすときの音量を設定できます。スタイルを鳴らして自分も演奏するときには、スタイル音量を設定してバランスをとります。

- 1 [スタイル](STYLE)ボタンを押します
- 2 画面にスタイル音量の項目「StyleVol」が表示されるまで、
[機能](FUNCTION)ボタンを何度か押します



- 3 数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]を押してスタイル音量の値を変えます



NOTE

・[+]、[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

コードの押さえ方

コードとは和音のことです。

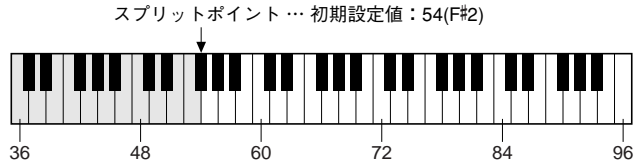
21ページ「スタイル(伴奏)を鳴らしながら弾いてみよう」では、華やかなスタイルを鳴らしながら、左側の鍵盤でコードを押さえるごとに、スタイルの感覚が変わることを覚えました。

ここではそういったコードの種類と押さえ方がくわしく書いてあります。

コード例はCの場合にかぎっています。

スタイルがオン(22ページ参照)の状態、スタイルを鳴らしながら左側の鍵盤でコードを押さえるには、下の2種類の方法があります。

- 簡単なコードの押さえかた
- 通常のコードの押さえかた



簡単なコードの押さえかた

鍵盤を1~3個押さえて、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを指定します。



- ・ルートキー(根音)と押さえる鍵盤

C 	・メジャー(M)コード ルートキー(根音)を押さえてください。	C7 	・セブンス(7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。
Cm 	・マイナー(m)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。	Cm7 	・マイナーセブンス(m7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



通常のコードの押さえかた

構成音を正確に押さえて、コードを指定します。

C 	C(9) 	C6 	C6(9) 	CM7 	CM7(9) 	CM7(#11) 	C(♭5) 	CM7♭5
Csus4 	Caug 	CM7aug 	Cm 	Cm(9) 	Cm6 	Cm7 	Cm7(9) 	Cm7(11)
CmM7 	CmM7(9) 	Cm7♭5 	CmM7♭5 	Cdim 	Cdim7 	C7 	C7(♭9) 	C7(♭13)
C7(9) 	C7(#11) 	C7(13) 	C7(#9) 	C7♭5 	C7aug 	C7sus4 	C1+2+5 	

カッコ()で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。

● 認識されるコード一覧

コード	押 鍵	コード(C)	画面表示
メジャー[M]	1 - 3 - 5	C	C
アッドナインス[9]	1 - 2 - 3 - 5	C(9)	C(9)
シックス[6]	1 - (3) - 5 - 6	C6	C6
シックスナインス[6(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 6	C6(9)	C6(9)*
メジャーセブンス[M7]	1 - 3 - (5) - 7 または 1 - (3) - 5 - 7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインス[M7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 7	CM7(9)	CM7(9)*
メジャーセブンスアッドシャープイレブンス[M7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - 7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - 7	CM7(#11)	CM7(#11)*
フラットファイブ [(b5)]	1 - 3 - b5	C(b5)	Cb5*
メジャーセブンスフラットファイブ [M7b5]	1 - 3 - b5 - 7	CM7b5	CM7b5*
サスフォー [sus4]	1 - 4 - 5	Csus4	Csus4
オーギュメント[aug]	1 - 3 - #5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント[M7aug]	1 - (3) - #5 - 7	CM7aug	CM7aug*
マイナー[m]	1 - b3 - 5	Cm	Cm
マイナーアッドナインス[m(9)]	1 - 2 - b3 - 5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス[m6]	1 - b3 - 5 - 6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス[m7]	1 - b3 - (5) - b7	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインス[m7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - b7	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアッドイレブンス[m7(11)]	1 - (2) - b3 - 4 - 5 - (b7)	Cm7(11)	Cm7(11)*
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1 - b3 - (5) - 7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインス[mM7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - 7	CmM7(9)	CmM7(9)*
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5]	1 - b3 - b5 - b7	Cm7b5	Cm7b5
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ [mM7b5]	1 - b3 - b5 - 7	CmM7b5	CmM7b5*
ディミニッシュ[dim]	1 - b3 - b5	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス[dim7]	1 - b3 - b5 - 6	Cdim7	Cdim7
セブンス[7]	1 - 3 - (5) - b7 または 1 - (3) - 5 - b7	C7	C7
セブンスフラットナインス[7(b9)]	1 - b2 - 3 - (5) - b7	C7(b9)	C7(b9)
セブンスアッドフラットサードティーンズ[7(b13)]	1 - 3 - 5 - b6 - b7	C7(b13)	C7(b13)
セブンスナインス[7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - b7	C7(9)	C7(9)
セブンスアッドシャープイレブンス[7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - b7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - b7	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアッドサードティーンズ[7(13)]	1 - 3 - (5) - 6 - b7	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインス[7(#9)]	1 - #2 - 3 - (5) - b7	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ [7b5]	1 - 3 - b5 - b7	C7b5	C7b5*
セブンスオーギュメント[7aug]	1 - 3 - #5 - b7	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー[7sus4]	1 - 4 - (5) - b7	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ[1+2+5]	1 - 2 - 5	C1+2+5	C*

* コード辞書画面では表示されません。

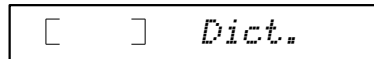
NOTE

- ・カッコ()内の音符は省略しても構いません。
- ・完全5度の押鍵ではルート音と5度の音による伴奏が演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。
- ・オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
- ・コード押鍵はすべて基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7b5、6、m6、sus4、aug、dim7、7b5、6(9)、1+2+5
- ・7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- ・同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、スタイルが変化しないことがあります。
- ・鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

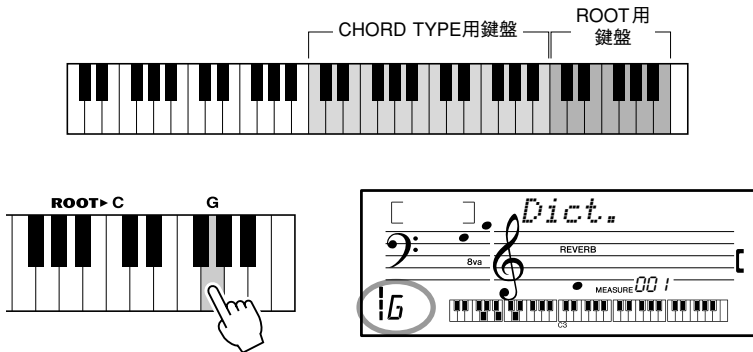
コード辞書でコードを調べる

コード名がわかっている、鍵盤の押さえ方がわからない場合、コード辞書で調べることができます。

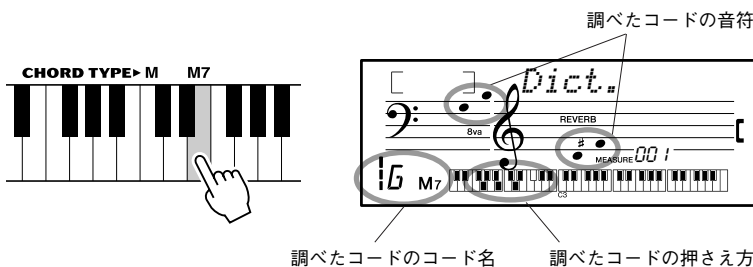
- 1 [マイペース] (WAITING) ボタンを1秒以上押します。画面に「Dict.」と表示されます。



- 2 たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の上に書かれた「ROOT」から「G」の鍵盤を押します（音は鳴りません）。設定されたルート音が画面に表示されます。



- 3 鍵盤の上に書かれた「CHORD TYPE」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押さえます（音は鳴りません）。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、画面に譜面表示と鍵盤イラストで表示されます。



NOTE

- メジャーコードについて
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。
- 例：
Cの表記はCメジャーを意味します。
メジャーコードを調べる場合は、ルート音を押したあとに「M」を押してください。

[+]、[-] ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

- 4 画面の表示にしたがって、自動伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が点滅します

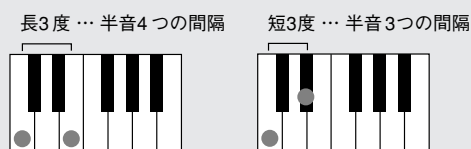
■ コード (和音) について

音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

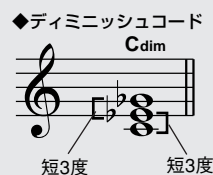
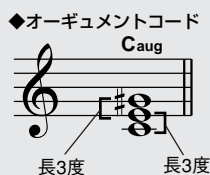
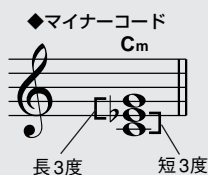
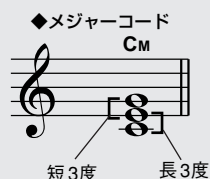
「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。



上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。



その組み合わせは次の4種類になります。



和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

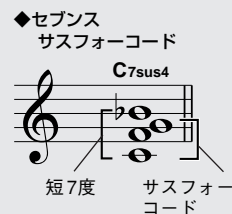
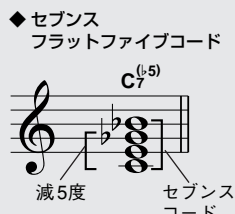
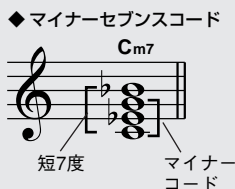
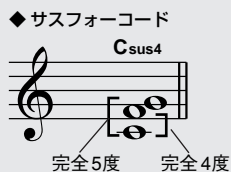
種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

● 和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



● 和音の種類 (通常押さえ方で認識されるコードの一部)



機能設定

[機能] (FUNCTION) ボタンを使って、楽器音の調整や、外部機器と接続するときの設定などを行ないます。

項目を選んで値を変える

設定できる項目は16個あります。

1 設定したい項目の画面表示が出るまで、[機能] (FUNCTION) ボタンを何度か押します

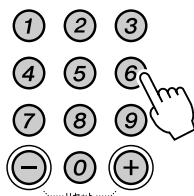
[機能] (FUNCTION) ボタンを押すたびに、16個の項目が順番に画面に表示されます。

項目の説明と画面表示は次ページの機能設定リストにあります。



2 数字ボタン[0]～[9]や、[+]、[-]を押して、値を設定します

ON/OFF設定をするときは[+]、[-]ボタンを使います。



●機能設定リスト

項目	画面表示	設定値	内容
スタイル音量	<i>StyleVol</i>	000~127	スタイルの再生音量を設定
ソング音量	<i>SongVol</i>	000~127	ソングの再生音量を設定
トランスポーズ	<i>TransPos</i>	-12~00~12	楽器の音の高さを半音単位で設定
チューニング	<i>Tuning</i>	-100~000~100	楽器の音の高さをセント単位で設定
スプリットポイント	<i>SplitPnt</i>	000~127 (C-2~G8)	楽器のメイン音色と自動伴奏鍵域の境目を設定
メイン音色音量	<i>M. Volume</i>	000~127	メイン音色の音量を設定
メイン音色の オクターブ	<i>M. Octave</i>	-2~0~2	メイン音色の音の高さをオクターブ単位で設定
リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	01~10	リバーブタイプを設定します。10はリバーブオフ。 リバーブタイプリスト参照(57ページ)
リバーブレベル	<i>RevLevel</i>	000~127	リバーブのかかり具合を設定。
パネルサステイン	<i>Sustain</i>	ON/OFF	メイン音色に常にサステイン(音の余韻)をかける(ON)か、 かけない(OFF)かを設定
ローカル	<i>Local</i>	ON/OFF	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か 鳴らさない(OFF)かを設定
外部クロック	<i>ExtClock</i>	ON/OFF	この楽器のクロックを外部クロックで動作させる(ON)か させない(OFF)かを設定
イニシャルセンド	<i>InitSend</i>	YES/NO	[+]ボタンを押すとこの楽器のパネル設定をコンピューターに送信
メトロノーム拍子	<i>TimeSig</i>	00~15	メトロノームの拍子を設定
メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000~127	メトロノームの音量を設定
デモキャンセル	<i>D-Cancel</i>	ON/OFF	オン(ON)にすると[デモ](DEMO)ボタンを押してもソングは鳴りません。オフ(OFF)にすると鳴ります。

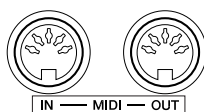
MIDI機器の接続

この楽器にはMIDI端子がついています。MIDI機能の活用により音楽の幅を広げることができます。

MIDIって何?

MIDI(ミディ)とは、電子楽器間で演奏情報のやりとりをすることができる世界共通の規格です。

MIDI端子のある電子楽器同士をMIDIケーブル(別売)を使ってつなげることで、楽器間のさまざまな演奏情報や設定情報などの送受信ができ、より高度な演奏が可能になります。



- ・外部機器を接続する場合は、PSR-E203の電源を切った状態で接続してください。その後、「外部機器→PSR-E203」の順に電源を入れてください。

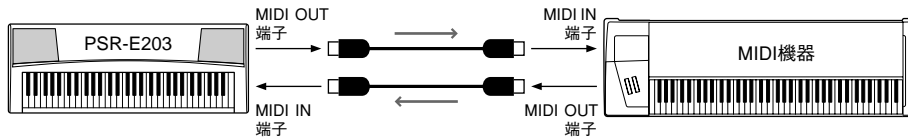
MIDIでできること

- PSR-E203と他のMIDI機器やコンピューターとのあいだで演奏情報を送受信する。

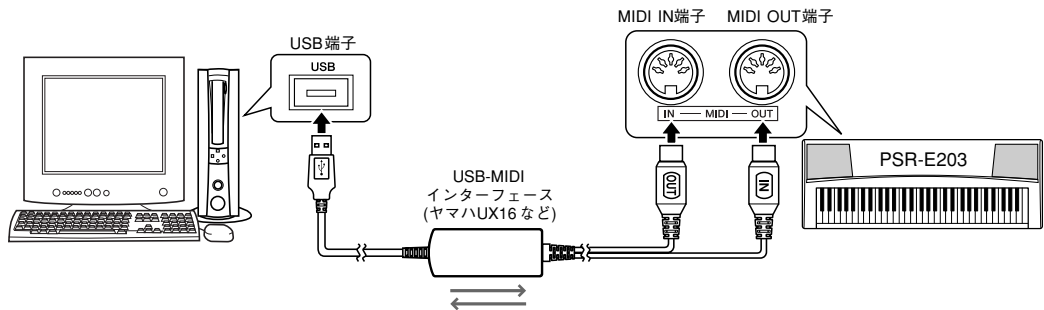
演奏情報を送受信する

他のMIDI機器やコンピューターとPSR-E203を接続することにより、PSR-E203の演奏情報を他のMIDI機器やコンピューターで活用したり、他のMIDI機器やコンピューターから演奏情報を受信してPSR-E203で鳴らすことができます。

● 他のMIDI機器と接続して演奏情報を送受信します



● コンピューターと接続して演奏情報を送受信します



USB端子付属のコンピューターとPSR-E203を接続するには、UX16 (別売)のような「USB-MIDIインターフェイス」が必要です。楽器店などで買い求めください。

UX16を使用するときは、UX16に付属のドライバーをコンピューターにインストールしてください。

■ MIDI設定

PSR-E203と他のMIDI機器やコンピューターを接続して演奏情報のやりとりなどを行なうときのMIDI設定です。

ローカルを設定する

ローカルコントロールの設定を行ないます。ローカルコントロールとは、PSR-E203の演奏を、PSR-E203の内部音源で鳴らす(オン)か鳴らさない(オフ)かの設定です。

- ON(ローカルオン).....本体の演奏は通常どおりPSR-E203で発音します。また、MIDI INから受信した情報もPSR-E203で発音します。
- OFF(ローカルオフ)....本体の演奏はPSR-E203で発音しません。ただし、演奏データはMIDI OUTから送信されます。また、MIDI INから受信した情報はPSR-E203で発音します。



・ローカルがオフに設定されていると、鍵盤を弾いても楽器から音は鳴りません。

ローカルの設定は機能設定で行ないます(48ページ参照)。

外部クロックを設定する

この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(オフ)か、外部クロックで動作させる(オン)かの設定です。

- ON(外部クロックで動作) 接続した外部機器のクロックで動作します。
- OFF(内部クロックで動作)..... この楽器の内部クロックで動作します。

外部クロックの設定は機能設定で行ないます(48ページ参照)。



・外部クロックをオンにすると、外部からクロック信号が入力されない限り、ソング、スタイルはスタートしません。

PSR-E203のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

PSR-E203のパネル設定を外部機器に送信します。

PSR-E203の演奏をシーケンサーなどに録音するとき、演奏の前にイニシャルセンドを行なうことにより、再生時に、録音したときと同じパネル設定で再生することができます。

イニシャルセンドの設定は機能設定で行ないます(48ページ参照)。

楽器リスト

■ 最大同時発音数について.....

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、スタイルやソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先*で発音します。

***後着優先**：最大同時発音数を超過して演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。



- ・MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- ・MIDIプログラムチェンジNo.を0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた値で指定します。たとえば、No.128のプログラムを指定する場合は、127の値になります。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[パネル楽器リスト]

楽器No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
001	0	112	1	グランドピアノ 1
002	0	0	1	グランドピアノ 2
003	0	0	2	ブライトピアノ
004	0	0	4	ホンキートンク ピアノ
005	0	0	7	ハーブシコード
エレクトリックピアノ				
006	0	0	5	エレクトリック ピアノ 1
007	0	0	6	エレクトリック ピアノ 2
008	0	0	3	エレクトリックグランドピアノ
009	0	0	8	クラビ
オルガン				
010	0	0	17	ドローバー オルガン
011	0	0	18	パーカッシブ オルガン
012	0	0	19	ロック オルガン
013	0	0	20	チャーチ オルガン
014	0	0	21	リード オルガン
アコーディオン				
015	0	0	22	アコーディオンF
016	0	0	24	タンゴアコーディオン
017	0	0	23	ハーモニカ
ギター				
018	0	0	25	ナイロン弦 ギター
019	0	0	26	スチール弦 ギター
020	0	0	27	ジャズ ギター
021	0	0	28	クリーン ギター
022	0	0	29	ミュート ギター
023	0	0	30	オーバードライブ ギター
024	0	0	31	ディストーション ギター
025	0	0	32	ギター ハーモニクス
ベース				
026	0	0	33	アコースティック ベース
027	0	0	34	フィンガー ベース

楽器No.	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
028	0	0	35	ピック ベース
029	0	0	36	フレットレス ベース
030	0	0	37	スラップ ベース 1
031	0	0	38	スラップ ベース 2
032	0	0	39	シンセ ベース 1
033	0	0	40	シンセ ベース 2
ストリングス				
034	0	0	49	ストリングス 1
035	0	0	50	ストリングス 2
036	0	0	51	シンセ ストリングス 1
037	0	0	52	シンセ ストリングス 2
038	0	0	45	トレモロ ストリングス
039	0	0	46	ピチカート ストリングス
040	0	0	41	バイオリン
041	0	0	42	ビオラ
042	0	0	43	チェロ
043	0	0	44	コントラバス
044	0	0	47	ハーブ
045	0	0	56	オーケストラ ヒット
コーラス				
046	0	0	53	クワイア アー
047	0	0	54	ボイス ウー
048	0	0	55	シンセ ボイス
サククス				
049	0	0	67	テナー サククス
050	0	0	66	アルト サククス
051	0	0	65	ソプラノ サククス
052	0	0	68	バリトン サククス
053	0	0	69	オーボエ
054	0	0	72	クラリネット
055	0	0	70	イングリッシュホルン
056	0	0	71	バスーン

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
トランペット				
057	0	0	57	トランペット
058	0	0	60	ミュート トランペット
059	0	0	58	トロンボーン
060	0	0	61	フレンチホルン
061	0	0	59	チューバ
ブラス				
062	0	0	62	ブラス セクション
063	0	0	63	シンセ プラス 1
064	0	0	64	シンセ プラス 2
フルート				
065	0	0	74	フルート
066	0	0	73	ピッコロ
067	0	0	76	パンフルート
068	0	0	75	リコーダー
069	0	0	77	ボトル
070	0	0	78	尺八
071	0	0	79	口笛
072	0	0	80	オカリナ
シンセリード				
073	0	0	81	スクエア リード
074	0	0	82	ソートゥース リード
075	0	0	83	カリオベ リード
076	0	0	84	チフリード
077	0	0	85	チャラン リード
078	0	0	86	ボイス リード
079	0	0	87	5度 リード
080	0	0	88	ベース & リード
シンセパッド				
081	0	0	89	ニュー エイジ パッド
082	0	0	90	ウォーム パッド
083	0	0	91	ポリ シンセパッド
084	0	0	92	クワイア パッド
085	0	0	93	ボウド パッド
086	0	0	94	メタリック パッド
087	0	0	95	ハロー パッド
088	0	0	96	スィープパッド
パーカッション				
089	0	0	12	ビブラフォン
090	0	0	13	マリンバ
091	0	0	14	シロフォン
092	0	0	115	スチール ドラム
093	0	0	9	チェレスタ
094	0	0	11	ミュージック ボックス
095	0	0	15	チューブラー ベル
096	0	0	48	ティンパニ
097	0	0	10	グロッケンシュピール
098	0	0	113	ティンクル ベル
099	0	0	114	アゴゴ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
100	0	0	116	ウッドブロック
101	0	0	117	和太鼓
102	0	0	118	メロディック タム
103	0	0	119	シンセ ドラム
104	0	0	120	リバーズ シンバル
シンセエフェクト				
105	0	0	97	レイン
106	0	0	98	サウンドトラック
107	0	0	99	クリスタル
108	0	0	100	アトモスフィア
109	0	0	101	ブライトネス
110	0	0	102	ゴブリン
111	0	0	103	エコー
112	0	0	104	サイエンスフィクション
ワールド				
113	0	0	105	シタール
114	0	0	16	ダルシマー
115	0	0	106	バンジョー
116	0	0	107	三味線
117	0	0	108	琴
118	0	0	109	カリンバ
119	0	0	110	バグパイプ
120	0	0	111	フィドル
121	0	0	112	シャナイ
サウンドエフェクト				
122	0	0	121	フレットノイズ
123	0	0	122	ブレスノイズ
124	0	0	123	海辺
125	0	0	124	鳥のさえずり
126	0	0	125	電話
127	0	0	126	ヘリコプター
128	0	0	127	拍手
129	0	0	128	銃声
ドラムキット				
130	127	0	1	スタンダードキット
131	127	0	28	ダンスキット
132	127	0	41	ブラッシュキット
133	127	0	49	シンフォニーキット
134	126	0	113	サウンドエフェクトキット

ドラムキットリスト

- ※ “ ” は「スタンダードキット」と同じ内容であることを表します。
- ※ 各パーカッション音の使用発音数は1です。
- ※ この楽器の鍵盤 (Keyboard) のNote No. とNoteは、MIDIのNote No. とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキットの「シーククリックH (Note No.36/Note C1)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.24/Note C0をこの楽器に送信します。
- ※ 「Alternate assign」欄のオルタネート番号1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。
- ※ 「Key off」の欄に○印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります (キョーフされます)。

	楽器No.						130	131	132	133	134
	MSB (0-127)/LSB(0-127)/PC (1-128)						127/0/1	127/0/28	127/0/41	127/0/49	126/0/113
	Keyboard		MIDI		Key off	Alternate assign	スタンダードキット	ダンスキット	ブラッシュキット	シンフォニーキット	サウンドエフェクトキット
Note No.	Note	Note No.	Note								
	25	C# 0	13	C# -1		3	スルドミュート				
	26	D 0	14	D -1		3	スルドオープン				
	27	D# 0	15	D# -1			ハイキュー				
	28	E 0	16	E -1			ウィップスラップ				
	29	F 0	17	F -1		4	スクラッチブッシュ				
	30	F# 0	18	F# -1		4	スクラッチブル				
	31	G 0	19	G -1			フィンガースナップ				
	32	G# 0	20	G# -1			クリックノイズ				
	33	A 0	21	A -1			メトロノームクリック				
	34	A# 0	22	A# -1			メトロノームベル				
	35	B 0	23	B -1			シーククリックL				
	36	C 1	24	C 0			シーククリックH				
C1	37	C# 1	25	C# 0			ブラッシュタップ				
D1	38	D 1	26	D 0	○		ブラッシュスワール				
D#1	39	D# 1	27	D# 0			ブラッシュスラップ				
E1	40	E 1	28	E 0	○		ブラッシュタップスワール	リバースシンバル			
F1	41	F 1	29	F 0	○		スネアロール				
F#1	42	F# 1	30	F# 0			カスタネット	ハイキュー2			ドラムループ
G1	43	G 1	31	G 0			スネアHソフト	アナログスネアスナッピー	ブラッシュスラップL		
G#1	44	G# 1	32	G# 0			スティックス				
A1	45	A 1	33	A 0			バスドラムソフト	アナログバスドラムダンス1		バスドラムL	
A#1	46	A# 1	34	A# 0			オープンリムショット	アナログスネアオープンリム			
B1	47	B 1	35	B 0			バスドラムハード	アナログバスドラムダンス2	グランカッサ		
C2	48	C 2	36	C 1			バスドラム	アナログバスドラムダンス3	バスドラムジャズ	グランカッサミュート	心音
C#2	49	C# 2	37	C# 1			サイドスティック	アナログサイドスティック			足音
D2	50	D 2	38	D 1			スネアM	アナログスネアキュー	ブラッシュスラップ	マーチングスネアM	ドアのきしみ
D#2	51	D# 2	39	D# 1			ハンドクラップ				ドアを開める
E2	52	E 2	40	E 1			スネアHハード	スネアアナログ+アコースティック	ブラッシュタップ	マーチングスネアH	拍手
F2	53	F 2	41	F 1			フロアタムL	アナログタム1	ブラッシュタム1	ジャズタム1	カメラ
F#2	54	F# 2	42	F# 1	1		ハイハットクローズ	アナログハイハットクローズ3			クラクション
G2	55	G 2	43	G 1			フロアタムH	アナログタム2	ブラッシュタム2	ジャズタム2	しゃっくり
G#2	56	G# 2	44	G# 1	1		ハイハットペダル	アナログハイハットクローズ4			はと時計
A2	57	A 2	45	A 1			ロータム	アナログタム3	ブラッシュタム3	ジャズタム3	せせらぎ
A#2	58	A# 2	46	A# 1	1		ハイハットオープン	アナログハイハットオープン2			かえる
B2	59	B 2	47	B 1			ミッドタムL	アナログタム4	ブラッシュタム4	ジャズタム4	雄鶏
C3	60	C 3	48	C 2			ミッドタムH	アナログタム5	ブラッシュタム5	ジャズタム5	犬
C#3	61	C# 3	49	C# 2			クラッシュシンバル1	アナログシンバル		ハンドシンバルL	猫
D3	62	D 3	50	D 2			ハイタム	アナログタム6	ブラッシュタム6	ジャズタム6	ふくろう
D#3	63	D# 3	51	D# 2			ライドシンバル1			ハンドシンバルショートL	馬の駆け足
E3	64	E 3	52	E 2			チャイニーズシンバル				馬のいななき
F3	65	F 3	53	F 2			ライドシンバルカップ				牛
F#3	66	F# 3	54	F# 2			タンバリン				ライオン
G3	67	G 3	55	G 2			スブラッシュシンバル				スクラッチ
G#3	68	G# 3	56	G# 2			カウベル	アナログカウベル			Yo!
A3	69	A 3	57	A 2			クラッシュシンバル2			ハンドシンバルH	Go!
A#3	70	A# 3	58	A# 2			ビブラスラップ				Get up!
B3	71	B 3	59	B 2			ライドシンバル2			ハンドシンバルショートH	Whoow!
C4	72	C 4	60	C 3			ボンゴH				
C#4	73	C# 4	61	C# 3			ボンゴL				
D4	74	D 4	62	D 3			コンガHミュート	アナログコンガH			
D#4	75	D# 4	63	D# 3			コンガHオープン	アナログコンガM			
E4	76	E 4	64	E 3			コンガL	アナログコンガL			
F4	77	F 4	65	F 3			ティンバレスH				
F#4	78	F# 4	66	F# 3			ティンバレスL				Huuuah!
G4	79	G 4	67	G 3			アゴゴH				
G#4	80	G# 4	68	G# 3			アゴゴL				
A4	81	A 4	69	A 3			カバサ				
A#4	82	A# 4	70	A# 3			マラカス	アナログマラカス			
B4	83	B 4	71	B 3	○		サンバホイッスルH				
C5	84	C 5	72	C 4	○		サンバホイッスルL				
C#5	85	C# 5	73	C# 4			ギロショート				
D5	86	D 5	74	D 4	○		ギロロング				
D#5	87	D# 5	75	D# 4			クラベス	アナログクラベス			
E5	88	E 5	76	E 4			ウッドブロックH				
F5	89	F 5	77	F 4			ウッドブロックL				
F#5	90	F# 5	78	F# 4			クイールミュート	スクラッチブッシュ			Uh!+Hit
G5	91	G 5	79	G 4			クイールオープン	スクラッチブル			
G#5	92	G# 5	80	G# 4		2	トライアングルミュート				
A5	93	A 5	81	A 4		2	トライアングルオープン				
A#5	94	A# 5	82	A# 4			シェイカー				
B5	95	B 5	83	B 4			ジングルベル				
C6	96	C 6	84	C 5			ベルツリー				
	97	C# 6	85	C# 5							
	98	D 6	86	D 5							
	99	D# 6	87	D# 5							
	100	E 6	88	E 5							
	101	F 6	89	F 5							
	102	F# 6	90	F# 5							
	103	G 6	91	G 5							

スタイルリスト

スタイル No.	スタイル名
8ビート	
001	8ビートモダン
002	60'sギターポップ
003	8ビートアドリア
004	60's 8ビート
005	8ビート
006	オフビート
007	60'sロック
008	ハードロック
009	ロックシャッフル
010	8ビートロック
16ビート	
011	16ビート
012	ポップシャッフル
013	ギターポップ
014	16ビートアップテンポ
015	クールシャッフル
016	ヒップホップライト
バラード	
017	ピアノバラード
018	ラブソング
019	6/8 モダンエレピ
020	6/8 スローロック
021	オルガンバラード
022	ポップバラード
023	16ビートバラード
ダンス	
024	ユーロトランス
025	イビサ
026	スイングハウス
027	クラブダンス
028	クラブラテン
029	ガラージ 1
030	ガラージ 2
031	テクノパーティー
032	UK ポップ
033	ヒップホップグループ
034	ヒップシャッフル
035	ヒップホップポップ
ディスコ	
036	70's ディスコ
037	ラテンディスコ
038	サタデーナイト
039	ディスコハンズ

スタイル No.	スタイル名
スイング & ジャズ	
040	ビッグバンドファスト
041	ビッグバンドバラード
042	ジャズクラブ
043	スイング 1
044	スイング 2
045	5ビート
046	ディキシランド
047	ラグタイム
リズム & ブルース	
048	ソウル
049	デトロイトポップ
050	6/8 ソウル
051	クロコツイスト
052	ロックンロール
053	コンボブギー
054	6/8 ブルース
カントリー	
055	カントリーポップ
056	カントリースイング
057	カントリー 2/4
058	ブルークラス
ラテン	
059	ブラジリアンサンバ
060	ボサノバ
061	ティファナ
062	ディスコラテン
063	マンボ
064	サルサ
065	ビギン
066	レゲエ
ボールルーム	
067	ウィナーワルツ
068	イングリッシュワルツ
069	スローフォックス
070	フォックストロット
071	クイックステップ
072	タンゴ
073	パソドブレ
074	サンバ
075	チャチャチャ
076	ルンバ
077	ジャイブ

スタイル No.	スタイル名
トラディショナル	
078	US マーチ
079	6/8 マーチ
080	ジャーマンマーチ
081	ポルカポップ
082	ポルカオーバークライナー
083	タランテラ
084	ショーチューン
085	クリスマススイング
086	クリスマスワルツ
087	スコティッシュリール
ワルツ	
088	スイングワルツ
089	ジャズワルツ
090	カントリーワルツ
091	ワルツオーバークライナー
092	ミュゼット
ピアニスト	
093	ストライド
094	ピアノスイング
095	アルペジオ
096	ハバネラ
097	スローロック
098	8ビートピアノバラード
099	6/8 ピアノマーチ
100	ピアノワルツ

エフェクトタイプリスト

[リバーブタイプリスト]

No.	タイプ	解 説
01	Hall 1 (ホール1)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
02	Hall 2 (ホール2)	
03	Hall 3 (ホール3)	
04	Room 1 (ルーム1)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
05	Room 2 (ルーム2)	
06	Stage 1 (ステージ1)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07	Stage 2 (ステージ2)	
08	Plate 1 (プレート1)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09	Plate 2 (プレート2)	
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

MIDI インプリメンテーションチャート

YAMAHA [PORTATONE] Model PSR-E203 MIDIインプリメンテーションチャート Date : 15-Nov-2004 Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	1~16チャンネル X	1~16チャンネル X	
モード	3 X ***** 代用	3 X X	
ノート番号 音域	0~127 *****	0~127 0~127	
ペロシティ	0 9nH, v=1~127 *2 X	0 9nH, v=1~127 X	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別 X X	X X	
ピッチベンダー	X	0	
コントロールチェンジ	0, 32 1 6 38 7, 10 11 64 71, 73, 74	0 *1 *1 *1 0 *1 0 *1 0	バンクセレクト モジュレーションホイール データエントリー (MSB) データエントリー (LSB) エクスプレッション サステイン

72	×		○	リリースタイム
84	×	*1	○	ポルタメントコントロール
91	○		○	エフェクト1 デブス
96、97	×		○	RPNデータインクリメント、デクリメント
100、101	×		○	RPN LSB、MSB
プログラムチェンジ 設定可能	○	0~127 *****	○	0~127
エクスクルーシブ	○		○	
コモン ソングポジション ソングセレクト チューン	×		×	
リアルタイム クロック コマンド	○		○	
その他 オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	×		○	(120、126、127)
	×		○	(21)
	×		○	(22)
	×		○	(23~125)
	○		×	

*1 60ページの2をご参照ください。

*2 60ページの6をご参照ください。

モード1：オムニ・オン、ポリ
モード3：オムニ・オフ、ポリ

モード2：オムニ・オン、モノ
モード4：オムニ・オフ、モノ

○：あり
×：なし

MIDI データフォーマット

- MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、自動伴奏、およびソングに影響します。
 - MIDIマスターチューン
 - リバーブタイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ
- これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、ソング、スタイル演奏中に送信されることがあります。
- エクスクルーシブ
 - <GMシステムオン>
 - F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
 - MIDIマスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。
 - <MIDIマスターボリューム>
 - F0H, 7EH, 7FH, 04H, 01H, II, mm, F7H
 - 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
 - mmの値をMIDIマスターボリューム値として使用します。(IIは無視)
 - <MIDIマスターチューニング>
 - F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mm, II, cc, F7H
 - 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
 - mm, IIの値をMIDIマスターチューニング値として使用します。
 - mm, IIのデフォルトは08H, 00Hです。また、nおよびccの値は任意です。

- <リバーブタイプ>
 - F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, IIH, mmH, F7H
 - II: リバーブタイプMSB
 - mm: リバーブタイプLSB
 - 詳細はエフェクトマップを参照してください。
- 4 スタイルやソングのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH(スタイルのスタート)、FCH(スタイルのストップ)を受信します。
- 5 ローカル オン/オフ
 - <ローカル オン> Bn, 7A, 7F
 - <ローカル オフ> Bn, 7A, 00
 - n: 無視されます。
- 6 このキーボードの鍵盤にはタッチレスポンス機能がついていないので、鍵盤演奏で強弱をつけることはできません。したがって、鍵盤を弾くことでMIDI送信されるベロシティは、固定値(各ボイスに最適な値)になります。

■ エフェクトマップ.....

- TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、受信LSBの値以下で、エフェクトタイプを持つ最大のLSBのタイプとなります。
- ()内の番号/名前はパネルディスプレイ上でのものです。

[リバーブ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	0	1	2	8	16	17	18	19	20	
0	No Effect									
1	(01)Hall1				(02)Hall2	(03)Hall3				
2	Room					(04)Room1		(05)Room2		
3	Stage				(06)Stage1	(07)Stage2				
4	Plate				(08)Plate1	(09)Plate2				
5...127	No Effect									

困ったときは

現象	原因と解決方法
[電源切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか?ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。 MIDIのローカルがオフ(OFF)に設定されていませんか?ローカルの設定をオン(ON)にしてください。(51ページ)
右手の鍵盤を弾いても、音が鳴らない。	コード辞書(46ページ)を使用していませんか?右手の鍵盤はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
・音量が小さくなった。 ・音質が劣化した。 ・リズムが止まる。 ・ソングなどが、正しく演奏(再生)されない。 ・突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。	電池が消耗しています。6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン(ON)に設定されていませんか?52ページの「外部クロックを設定する」の項を参照して、外部クロックをオフ(OFF)に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか?スタイル音量の設定を確認してください。(43ページ) コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか?「スプリットポイントの変更」(36ページ)の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP ON表示は出ていますか?表示がでない場合は、もう一度[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してACMP ONを表示させてください。
スタイル番号093~100(ピアニスト)を選んでいるとき、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押してもリズムが鳴らない。	故障ではありません。スタイル番号093~100(ピアニスト)は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。スタイルオン時に[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押して、自動伴奏鍵域でコードを押さえると、リズム以外のパートを含んだスタイルを鳴らすことができます。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音が途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(32音)を越えています。 スタイルやソングなどを含めて最大32音の範囲で鳴らすことができます。32音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう1度電源を入れ直してください。
[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してもACMP ONが表示されない。	スタイルに関する機能を使うときは、まず[スタイル](STYLE)ボタンを押してください。
レッスンで[右手](R)ボタン、[左手](L)ボタンを押しても、Right、Left、BothHandなどのパート表示が出ない。	ソングを鳴らしたまま[右手](R)ボタン、[左手](L)ボタンを押していませんか?レッスンスタート前に、ソングを鳴らしたままパートボタンを押すと、ソングトラックのミュート機能に入ります。レッスンスタート前のパート選択は、ソングをストップさせてから行なってください。
鍵盤を弱く弾いても強く弾いても、音量が変わらない。	この楽器は鍵盤を弾く強さに関係なく、一定音量で鳴ります。

仕様一覧

鍵盤

- ・ PSR-E203 レギュラーサイズ61鍵 (C1～C6)

画面

- ・ 液晶画面

セットアップ

- ・ [電源 切/入](STANDBY/ON)スイッチ
- ・ 全体音量(MASTER VOLUME) : [+], [-]ボタン

パネルコントロール

- ・ [左手](L)、[右手](R)、[お手本](LISTEN & LEARN)、[タイミング](TIMING)、[マイペース](WAITING)、[くり返し練習](A-B REPEAT)/[スタイル オン/ オフ](ACMP ON/OFF)、[巻戻し](REW)/[イントロ/ エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)、[早送り](FF)/[メイン/ フィルイン](MAIN/AUTO FILL)、[テンポ/ タップ](TEMPO/TAP)、[一時停止](PAUSE)/[シンクロスタート](SYNC START)、[スタート/ ストップ](START/STOP)、[ソング](SONG)、[スタイル](STYLE)、[楽器](VOICE)、[機能](FUNCTION)、[グランドピアノ](PORTABLE GRAND)、[効果音](SOUND EFFECT KIT)、[リバーブ オン/オフ](REVERB ON/OFF)、[デモ](DEMO)、[メトロノーム オン/オフ](METRONOME ON/OFF)、数字ボタン[0]～[9]、[+]、[-]

楽器

- ・ 129パネル音色+4ドラムキット+1サウンドエフェクトキット(最大同時発音数32)

スタイル

- ・ 100プリセット
- ・ スタイルコントロール :
 - ・ スタイルオン/オフ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダンド、メイン/フィルイン
- ・ マルチフィンガリング
- ・ スタイル音量

レッスン機能

- ・ コード辞書
- ・ レッスン1～3

機能設定

- ・ スタイル音量、ソング音量、トランスポーズ、チューニング、スプリットポイント、メイン音色(音量、オクターブ)、リバーブタイプ、リバーブレベル、パネルサステイン、ローカル、外部クロック、イニシャルセンド、メトロノーム(拍子、音量)、デモキャンセル

エフェクト

- ・ リバーブ : 9種類

ソング

- ・ プリセットソング102曲
- ・ ソング音量

MIDI

- ・ ローカル、外部クロック、イニシャルセンド

付属端子

- ・ MIDI、SUSTAIN、PHONES/OUTPUT、DC IN 12V

アンプ実用最大出力

- ・ 2.5W+2.5W

スピーカー

- ・ 12cm×2

電源

- ・ アダプター : PA-3C
- ・ 電池 : 単3 乾電池(1.5V)×6

電池寿命

- ・ アルカリ電池で約12時間

消費電力

- ・ 電源アダプター PA-3C 使用時 : 12W

寸法(幅×奥×高mm)

- ・ 945×348×110

質量

- ・ 4.4 kg (乾電池含まず)

付属品

- ・ 取扱説明書(本書)、電源アダプター (PA-3C)、ソングブック、和文シート、保証書、譜面立て

オプション(別売)品

- ・ ソフトケース(SCC-32/SCC-36)、キーボードスタンド(L-2L/L-2C)、ヘッドフォン(HPE-150/HPE-30)、フットスイッチ(FC4/FC5)、USB-MIDIインターフェース(UX16)

※仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

インデックス

ボタン名 / 端子名

一時停止(PAUSE)ボタン	20
イントロ/エンディング/rit. (INTRO/ENDING/rit.)ボタン	41
お手本(LISTEN & LEARN)ボタン	28
楽器(VOICE)ボタン	13, 25
機能(FUNCTION)ボタン	25, 48
グランドピアノ(PORTABLE GRAND)ボタン	14
くり返し練習(A-B REPEAT)ボタン	33
効果音(SOUND EFFECT KIT)ボタン	16
シンクロスタート(SYNC START)ボタン	22
数字ボタン0~9、+、-	25
スタート/ストップ(START/STOP)ボタン	24
スタイル(STYLE)ボタン	21, 25
スタイル オン/オフ(ACMP ON/OFF)ボタン	22
全体音量(MASTER VOLUME) +、-ボタン	9, 12, 24
ソング(SONG)ボタン	19, 25
タイミング(TIMING)ボタン	29
デモ(DEMO)ボタン	20
電源 切/入(STANDBY/ON)スイッチ	9, 12, 24
テンポ/タップ(TEMPO/TAP)ボタン	38
早送り(FF)ボタン	20
左手(L)ボタン	28
マイペース(WAITING)ボタン	30
巻戻し(REW)ボタン	20
右手(R)ボタン	28
メイン/フィルイン(MAIN/AUTO FILL)ボタン	41
メトロノーム オン/オフ (METRONOME ON/OFF)ボタン	17
リバーブ オン/オフ(REVERB ON/OFF)ボタン	34
DC IN 12V(電源アダプター)端子	8
MIDI IN/OUT 端子	50
PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子	9
SUSTAIN(サステイン)端子	9

アイウエオ順

イ

一時停止	20
イニシャルセンド	49
イントロ	39, 42

エ

ACMP ON/OFF	22
ABリピート	33
エンディング	40, 42

オ

オクターブ(メイン)	49
オプション	62
音色	13
音符表示	26
音量(全体)	9, 24

カ

外部クロック	49, 52
楽器音	13~16
楽器リスト	53
画面表示	26
乾電池	8

キ

機能設定	48
機能設定リスト	49

ク

グランドピアノ	14
くり返し	33

ケ

鍵盤表示	26
------	----

コ

コード(和音)	23, 44~45, 47
コード辞書	46
コード表示	26, 45
コンピューター	50~51

サ

採点	29
----	----

シ

自動伴奏鍵域	22
小節表示	26
シンクロスタート	22, 39

ス

数字ボタン	25
スタート	24
スタイル	21~22, 39~42
スタイル オン/オフ	22
スタイル音量	43
スタイルリスト	56

ストップ	24
スプリットポイント	36

ソ

ソング	19
ソング音量	31
ソングリスト	20

チ

チューニング	37
--------	----

テ

デモ	20
電源アダプター	8
テンポ	38

ト

トラック	26, 32
ドラムキット	14
ドラムキットリスト	55
トランスポーズ	36

ナ

長く押す表示	24
--------	----

ハ

パート	28
パネルサステイン	35
早送り	20
伴奏(スタイル)	21~23

ヒ

ビート表示	26
拍子	18

フ

付属品	6, 62
フットスイッチの接続(SUSTAIN端子)	9
譜面立て	6

マ

巻戻し	20
-----	----

ミ

MIDI	50
ミュート(消音)	32

メ

メイン/フィルイン	41~42
メトロノーム	17~18
メトロノーム音量	18
メロディ音色	31

リ

リズム	21
リバーブ	34
リバーブタイプリスト	57
リバーブレベル	49

ル

ルート	44, 46
-----	--------

レ

レッスン	27~30
------	-------

ロ

ローカル	49, 51
------	--------

ワ

和文シート	6
ワンタッチセッティング	37

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

●修理のご依頼/修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理受付センター

- 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30 (祝祭日および弊社休業日を除く)
- ナビダイヤル(全国共通番号)  0570-012-808 ● FAX 053-463-1127

●修理品お持込み窓口

- 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝祭日および弊社休業日を除く)
- * お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	FAX (011) 512-6109
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	FAX (022) 236-0007
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラクタートミナル内14号棟A-5F	FAX (03) 5762-2125
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	FAX (053) 462-9244
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	FAX (052) 652-0043
大阪サービスセンター	〒564-0052	吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F	FAX (06) 6330-5535
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	FAX (087) 822-7160
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4	FAX (092) 472-2137

◆ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272

- 受付日 月曜日～土曜日(日・祝日およびセンターの休業日を除く) ● 受付時間 10:30～19:00
- <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

国内楽器営業本部

EM営業部 企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
PA・DMI事業部			
営業部 CL・PK 営業課	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-3275

◆インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・電子ピアノ/キーボードのホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
- ・よくあるご質問(Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2005 Yamaha Corporation

A0
???PO???-01

WD56580 Printed in China